



# 投資家向け説明会

## 2024年3月期 第3四半期

ソフトバンク株式会社  
2024年2月7日

## (免責事項)

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなりスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

## (本資料上記載されている数値の定義について)

本資料上記載されている数値の定義についてはデータシートをご参照ください。

- 増収増益\*<sup>1</sup>。通期予想に対し極めて順調に推移(純利益進捗率は96.8%)
- 2023年度通期予想を上方修正(純利益は期初予想比+10%)
- モバイル売上高が反転、今期から増収へ(中計\*<sup>2</sup>から1年前倒し)
- PayPayの連結EBITDAが3四半期連続で黒字

# 増収増益。いずれも通期予想を上回るペースで進捗

(PayPay再測定益を除く)

(億円)	FY22 Q3累計	FY23 Q3累計	増減	増減率	通期予想 進捗率 (期初予想)
売上高	43,455	45,116	+1,661	+3.8%	75.2%
調整後 EBITDA*¹	12,631	13,091	+460	+3.6%	83.4%
営業利益 (PayPay 再測定益含む)	6,872 (9,820)	7,319	+448 (-2,501)	+6.5% (-25.5%)	93.8%
純利益*² (PayPay 再測定益含む)	3,134 (5,086)	4,067	+933 (-1,019)	+29.8% (-20.0%)	96.8%

- 3Q進捗率は営業利益93.8%、純利益96.8%

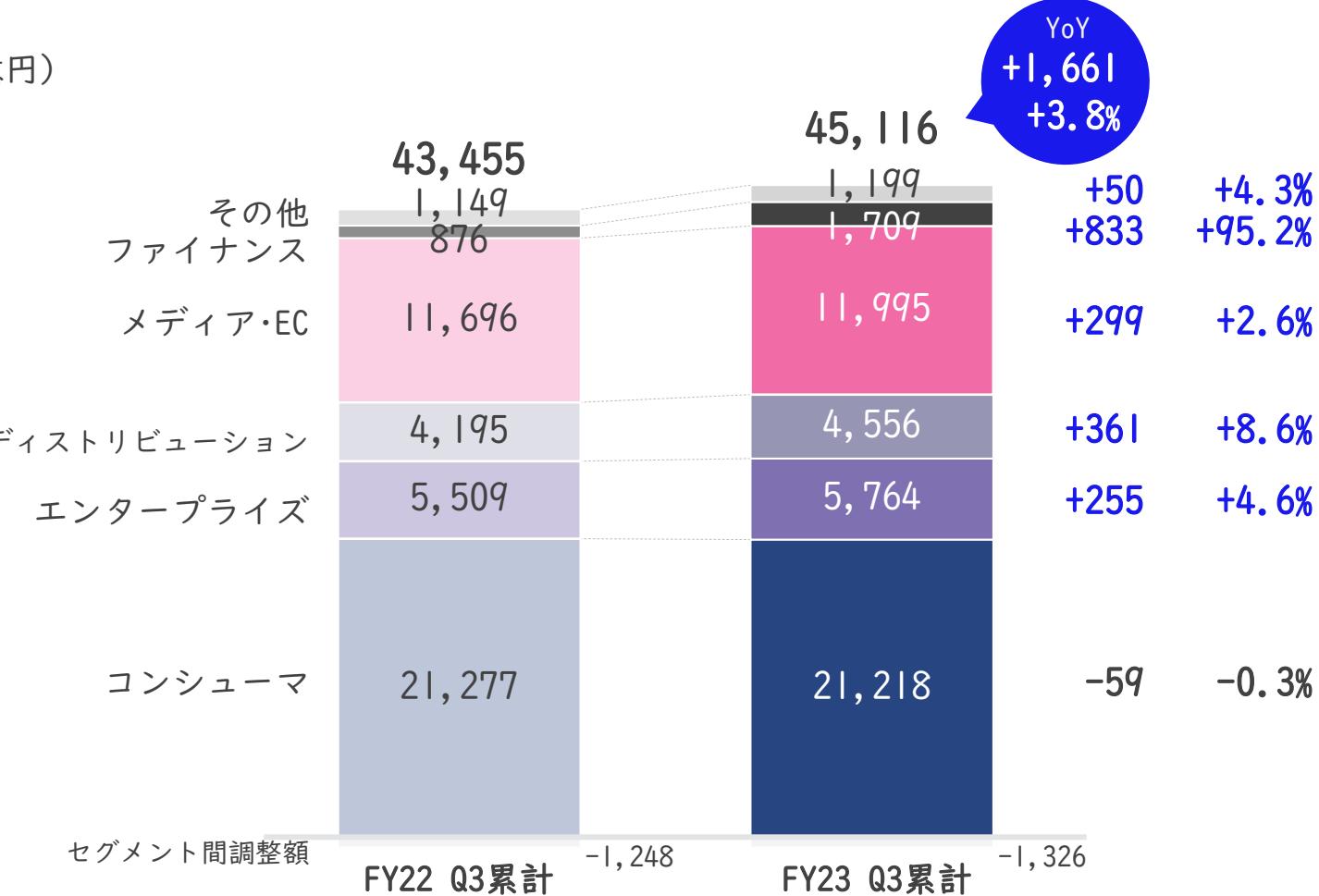
期初予想 売上	60,000億円
EBITDA	15,700億円
営業利益	7,800億円
純利益	4,200億円

\*1：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及び償却費(固定資産除却損含む) + 株式報酬費用 ± その他の調整項目（以下本編内において同様）

\*2：純利益は、親会社の所有者に帰属する純利益（以下本編内において同様）

# 非通信領域\*1が増収をけん引

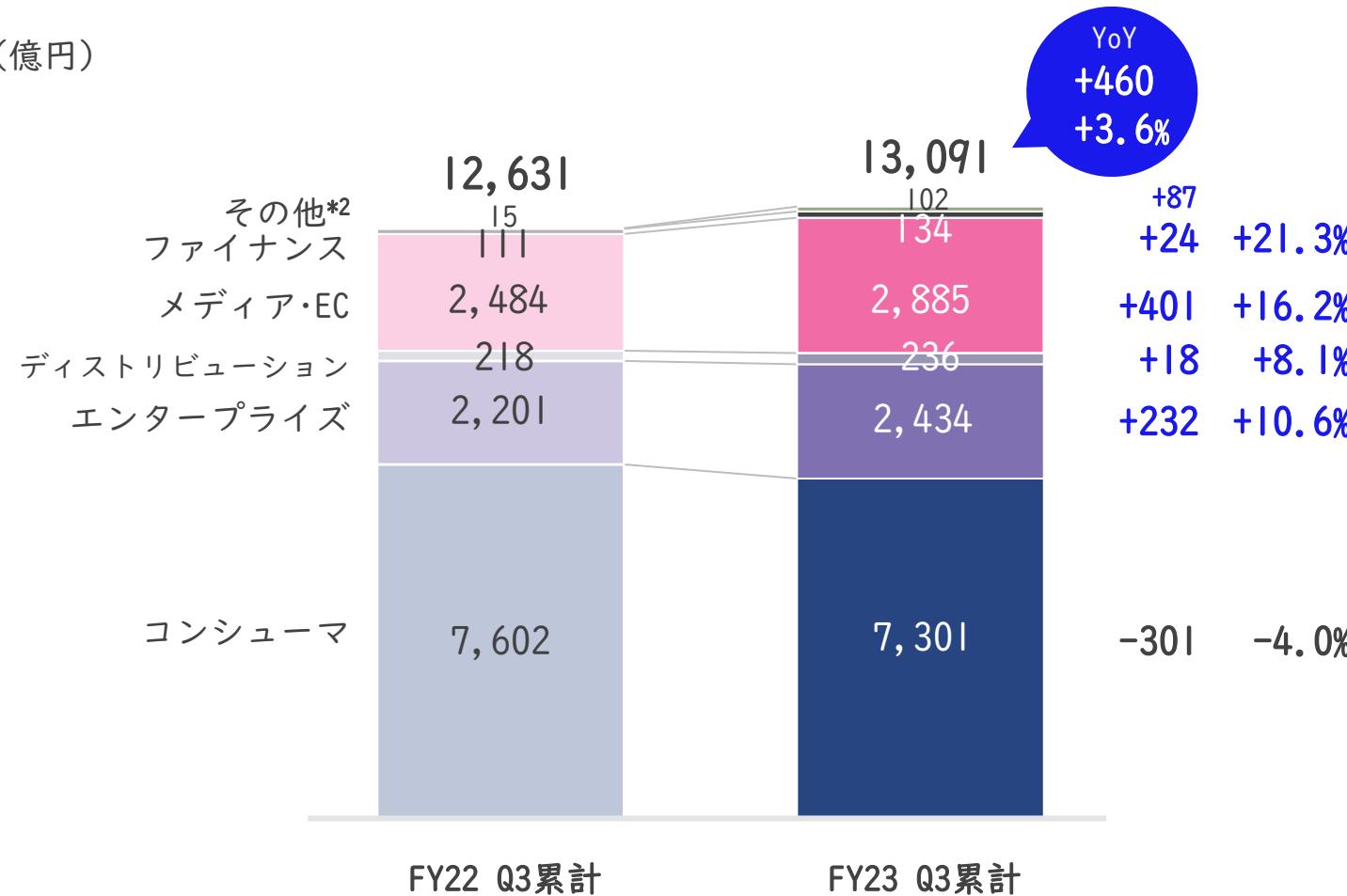
(億円)



- 通期予想 6兆円(過去最高)に対する進捗率 75.2%
- エンタープライズ、ディストリビューション、メディア・EC、ファイナンスの4事業が増収
- コンシューマはでんきが減収、モバイルは回復傾向(P7、8参照)

# 通信料値下げの影響を非通信領域\*1の成長でカバーし増益

(億円)

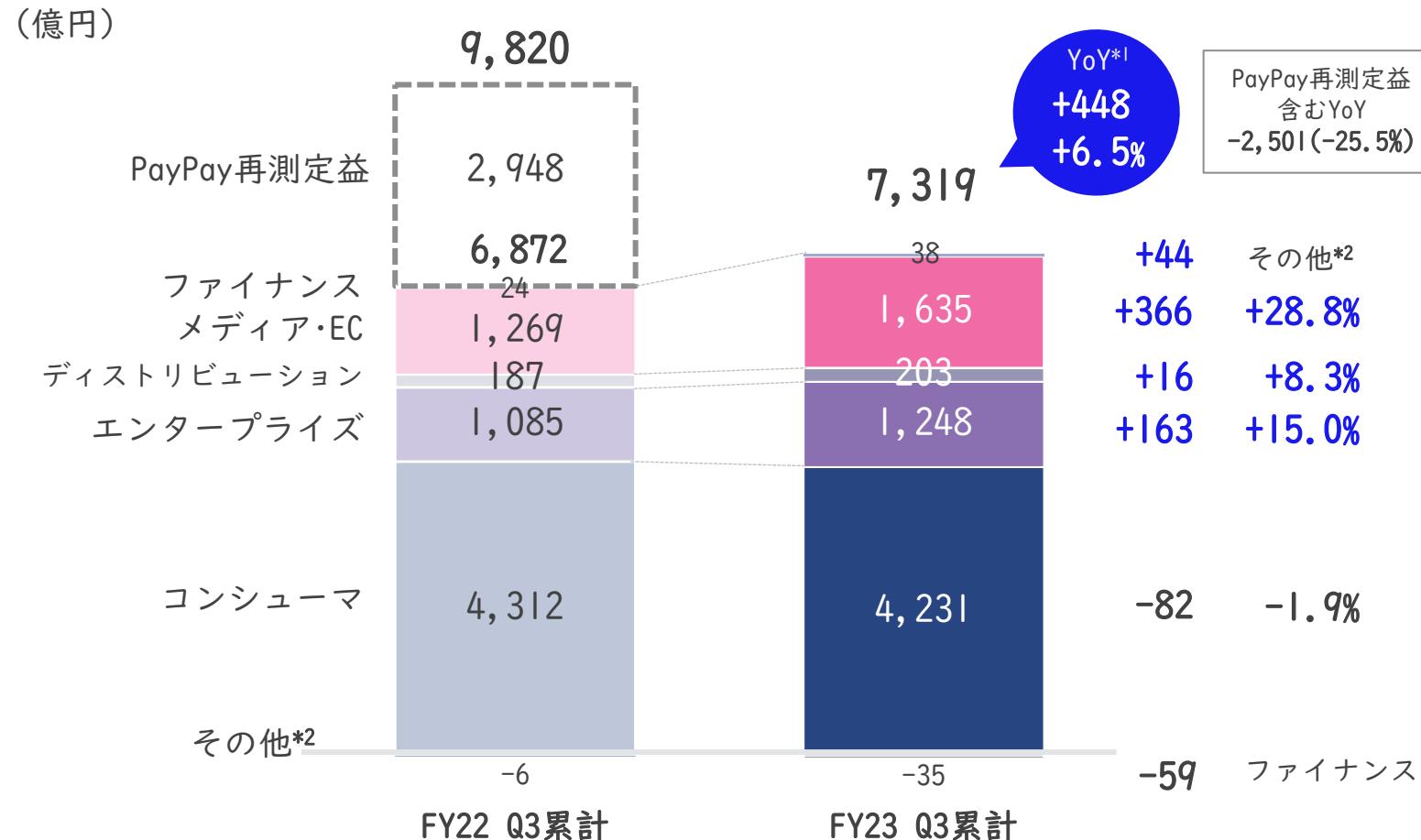


- 通期予想 15,700億円に対する進捗率は83.4%と順調に推移

\*1：エンタープライズ、ディストリビューション、メディア・EC、ファイナンス

\*2：その他はセグメント間調整額を含む（FY22 Q3累計：19億円、FY23 Q3累計：23億円）

# PayPay再測定益を除き実質増益。非通信領域<sup>\*3</sup>の伸びが顕著



- 通期予想 7,800億円に対する進捗率 93.8%
- コンシューマ、メディア・ECは90%を超える進捗

## セグメント別通期予想

(億円)	FY22実績	FY23 期初予想	増減率	対通期予想 Q3進捗率
コンシューマ	4,624	4,700	+2%	90.0%
エンタープライズ	1,351	1,525	+13%	81.8%
ディストリビューション	243	267	+10%	76.0%
メディア・EC	1,597	1,760	+10%	92.9%
ファイナンス*	-124	-200	-	-
その他 <sup>*1</sup>	-38	-252	-	-
<b>全社計</b>	<b>7,653</b>	<b>7,800</b>	<b>+2%</b>	<b>93.8%</b>

\* ファイナンスはPayPay(株)をFY22Q1から子会社化していたと仮定した場合改善(P13参照)

\*1：PayPay再測定益を除く \*2：その他はセグメント間調整額を含む (FY22 Q3累計:36億円、FY23 Q3累計:51億円)

\*3：エンタープライズ、ディストリビューション、メディア・EC、ファイナンス

# 物販等売上が増収もでんきが減収。モバイルの減収は大幅に改善 (P8参照)

## セグメント売上高

(億円)

21,277

21,218

YoY  
-5q  
-0.3%

物販等売上

4,288

4,761

+473 +11.0%

でんき

2,457

1,916

-541 -22.0%

ブロードバンド

2,979

3,026

+47 +1.6%

モバイル

11,552

11,514

-38 -0.3%

FY22 Q3累計

FY23 Q3累計

- 物販等売上

FY22Q2以降の端末販売単価の値上げに加え、出荷数増加により増収 (FY23Q3単体で前年比+355億円)

- でんき

市場での取引減少により減収

- ブロードバンド

割引キャンペーン影響が一巡、契約数の増加などで増収

- モバイル(主な増減要因)

通信料値下げ影響\*1 -370億円

契約数の増加他 +332億円

---

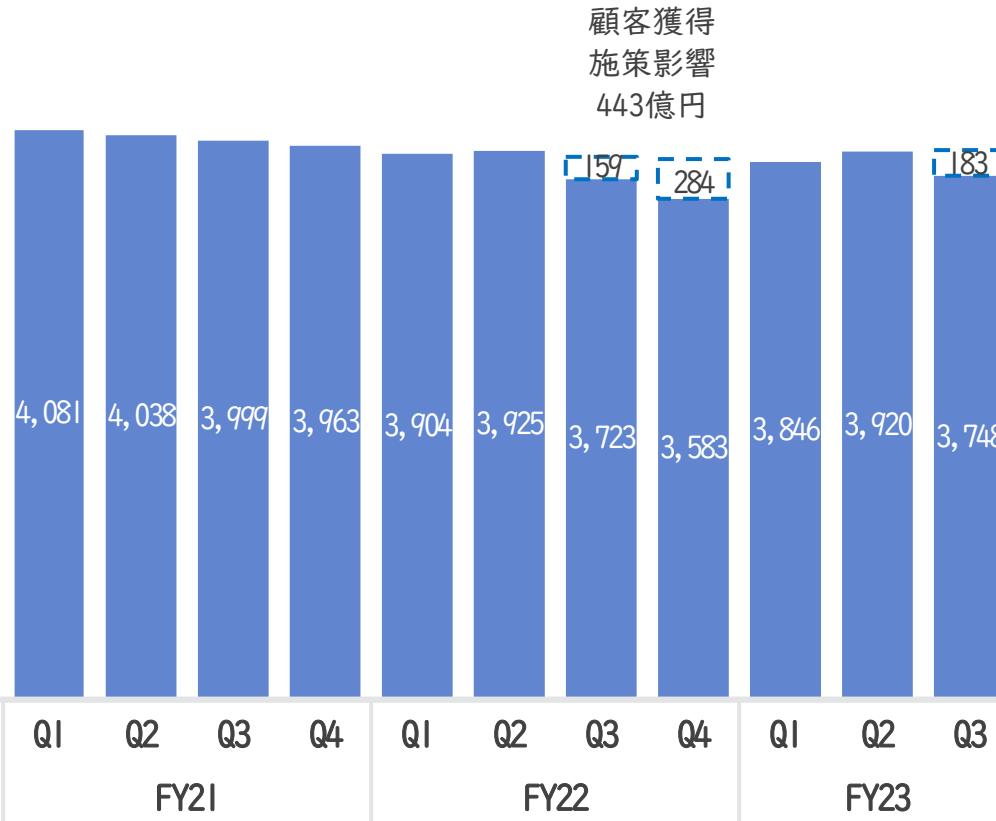
FY23Q3累計 -38億円

FY22Q3累計(参考) -566億円

FY23Q3モバイル売上高は前年同期比で増収反転（顧客獲得施策の影響を除く）  
通期でも中計\*1の事業目標から1年前倒して増収の見込み

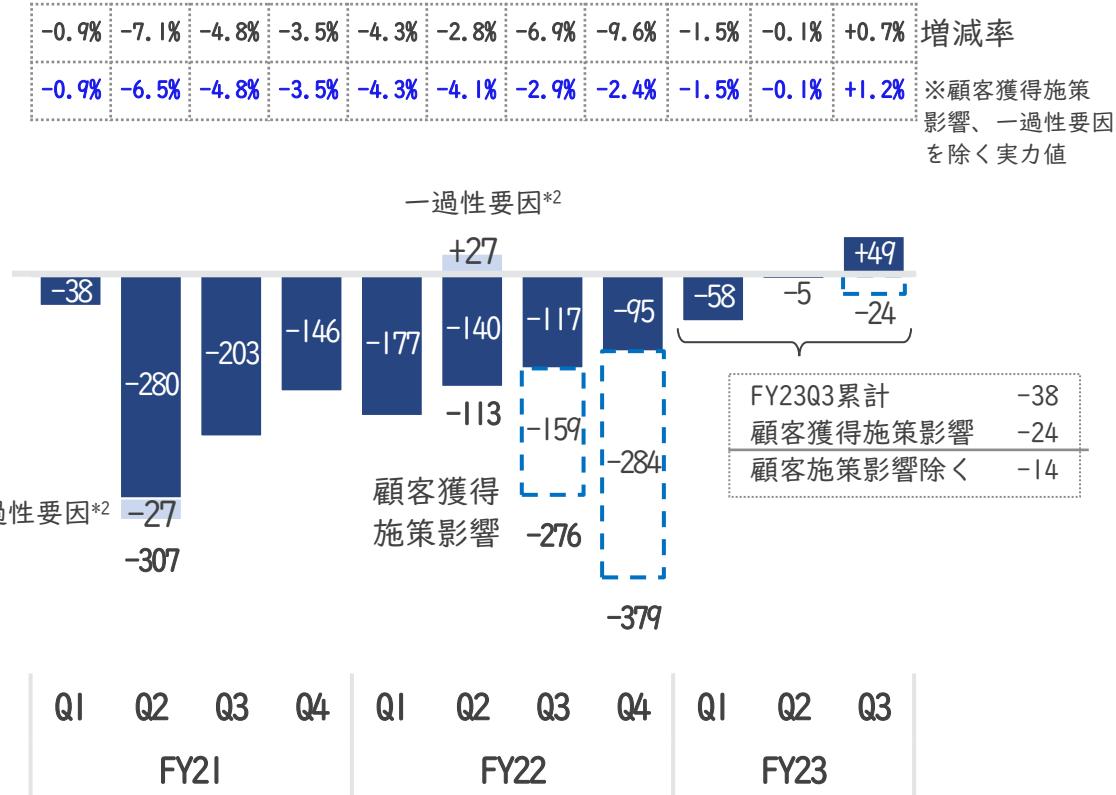
## モバイル売上高 四半期推移

(億円)



## モバイル売上高 前年同期比

(億円)



\*1：2023年5月発表の中期経営計画 \*2：FY21におけるデータくりこしの提供開始および基本料1ヶ月無料の影響

モバイル売上の回復、コストダウンなどで減益幅は-82億円に改善  
今期増益の通期予想に対して順調に推移

### セグメント利益

(億円)

4,312

サービス  
売上

-532

物販等売上  
(主に端末)

+473

商品原価  
(主に端末)

-538

費用

+516

4,231

YoY  
-82\*  
-1.9%進捗率  
90.0%

モバイル	-38
ブロードバンド	+47
でんき	-541

サービス原価 (主にでんき)	+543
通信設備使用料	+8
上記以外の費用	-36

販売関連費	-126
獲得関連費用(主に繰延影響)	-96
広告宣伝費・販促費等	-30
減価償却費/除却損	+216
その他	-126

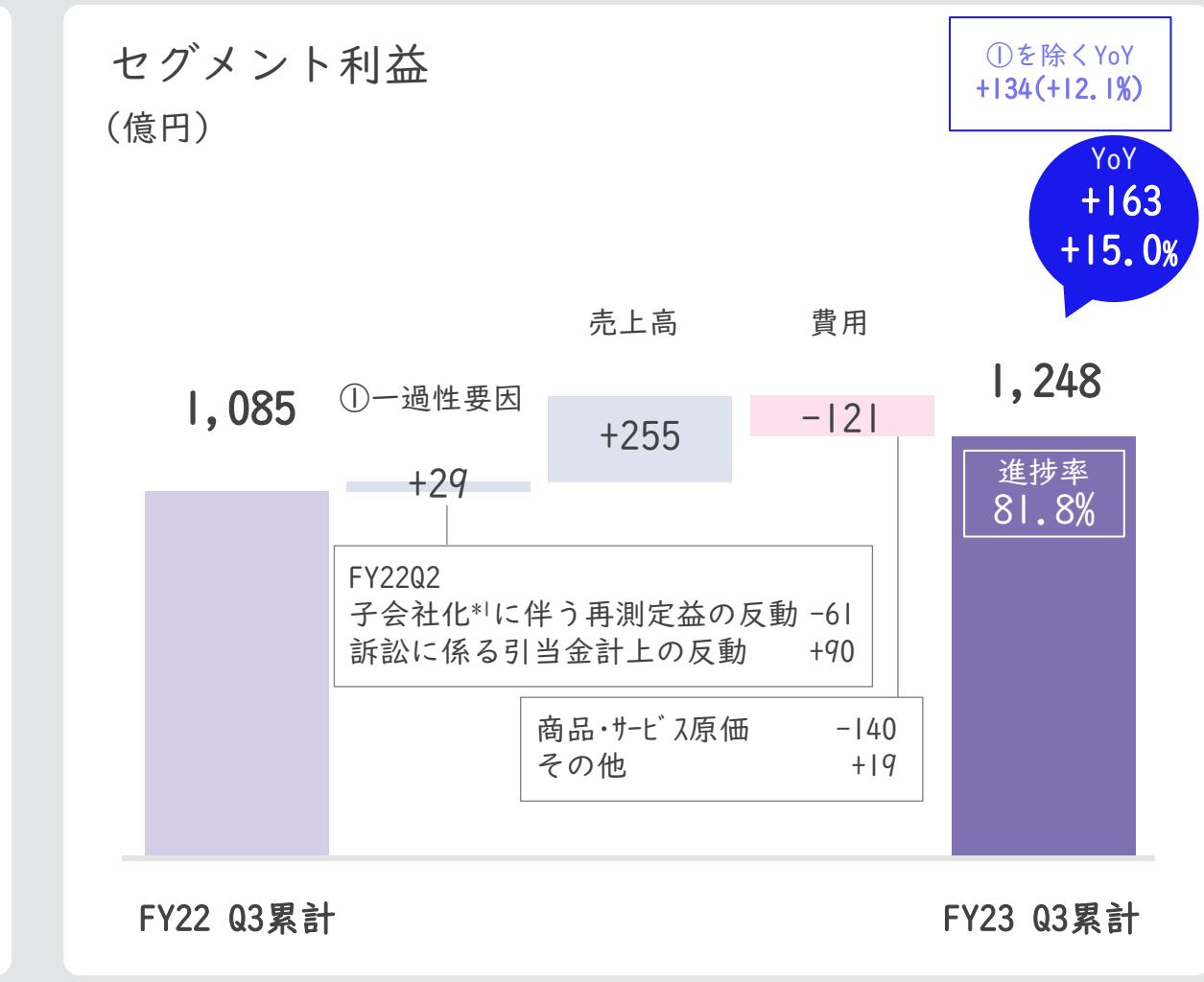
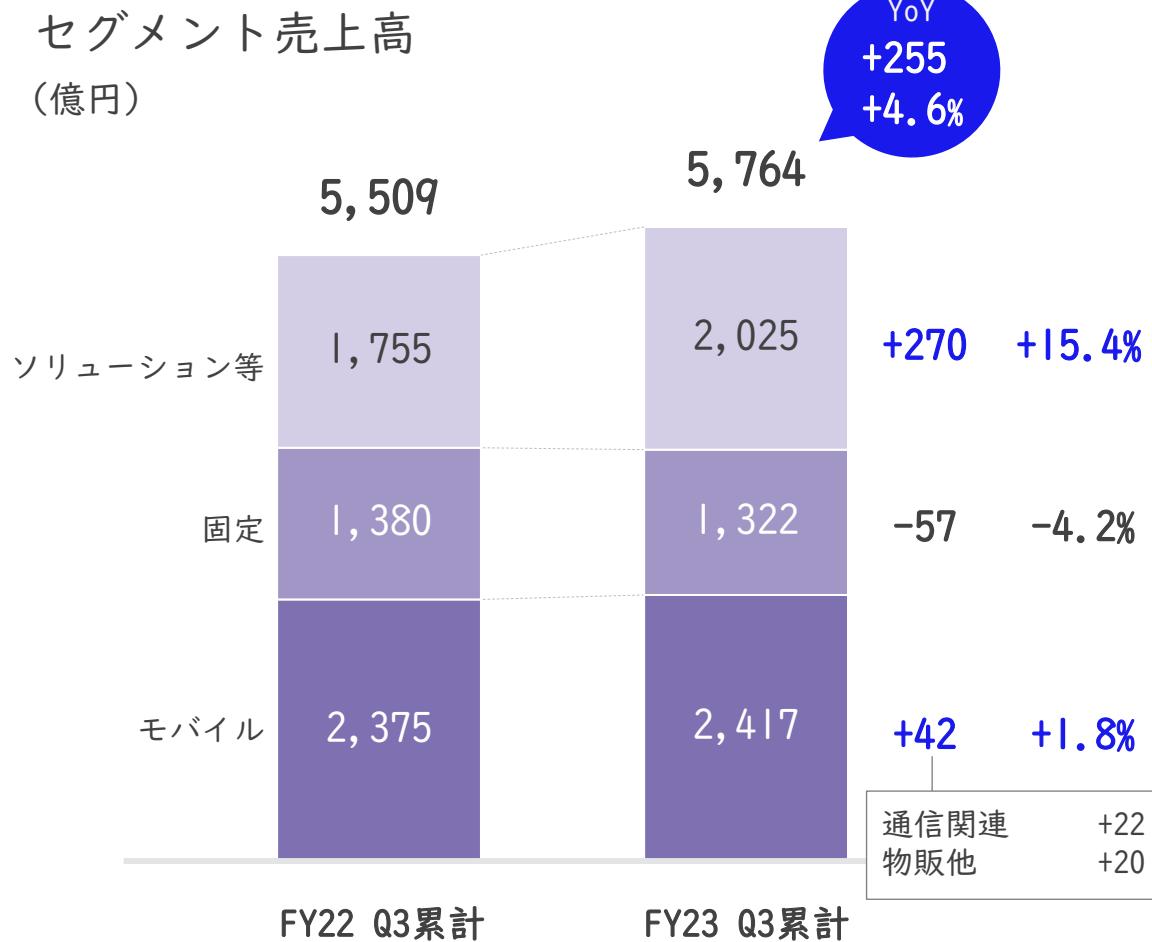
FY22 Q3累計

FY23 Q3累計

- 物販等売上・商品原価 -66億円  
出荷台数増加も販売促進が影響
- でんき  
主に価格見直し(燃料費調整額の上限撤廃を含む)により粗利が改善し増益
- 販売関連費/減価償却費  
償却費が減少  
獲得関連費用は、主に前年度までの施策費用の繰延計上により増加
- その他  
3Gサービス終了に伴う撤去関連費用など

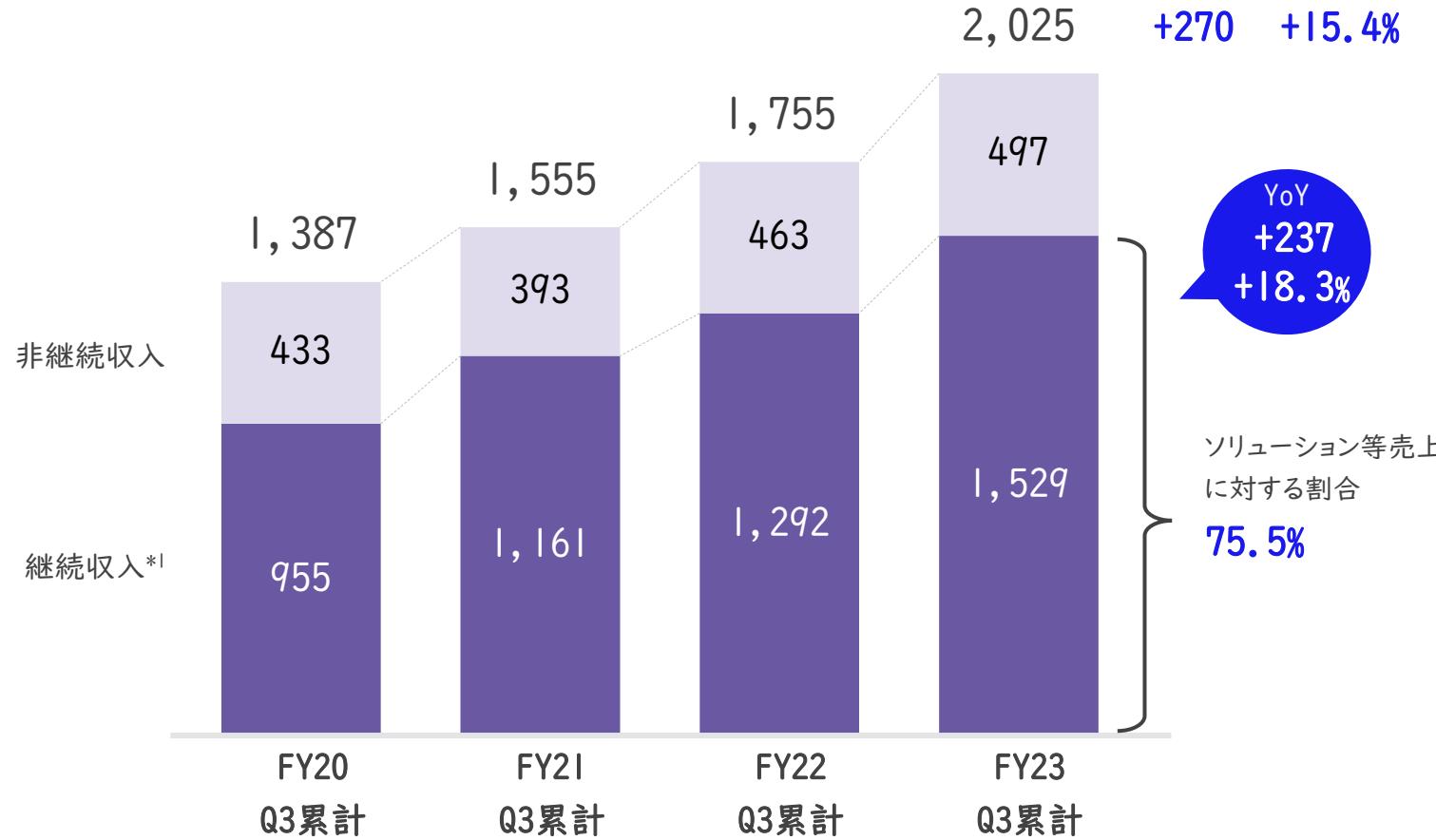
\*| : 前年同期(FY22Q3累計)の減益幅は-875億円

ソリューション等売上がけん引し、2桁増益の通期予想に向け順調に推移  
利益は5年で倍増のペースで成長 (FY18実績 763億円 → FY23通期予想 1,525億円)



## ソリューション等の継続収入が引き続き成長

(億円)

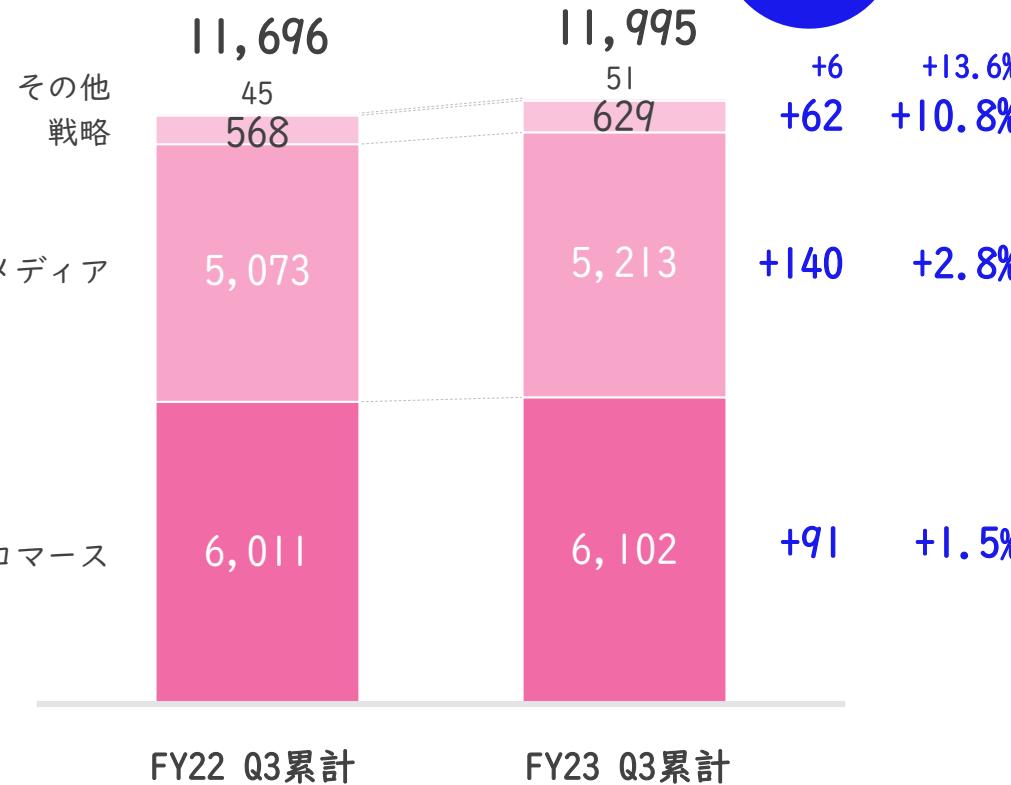


- ソリューション等売上の75%以上を占める継続収入は前年同期比+18.3%
- クラウドとセキュリティなどが好調

コスト最適化や事業の選択と集中の推進、メディア領域のアカウント広告の伸長により増益。2桁増益の通期予想に向け順調な進捗  
(期初1,760億円)

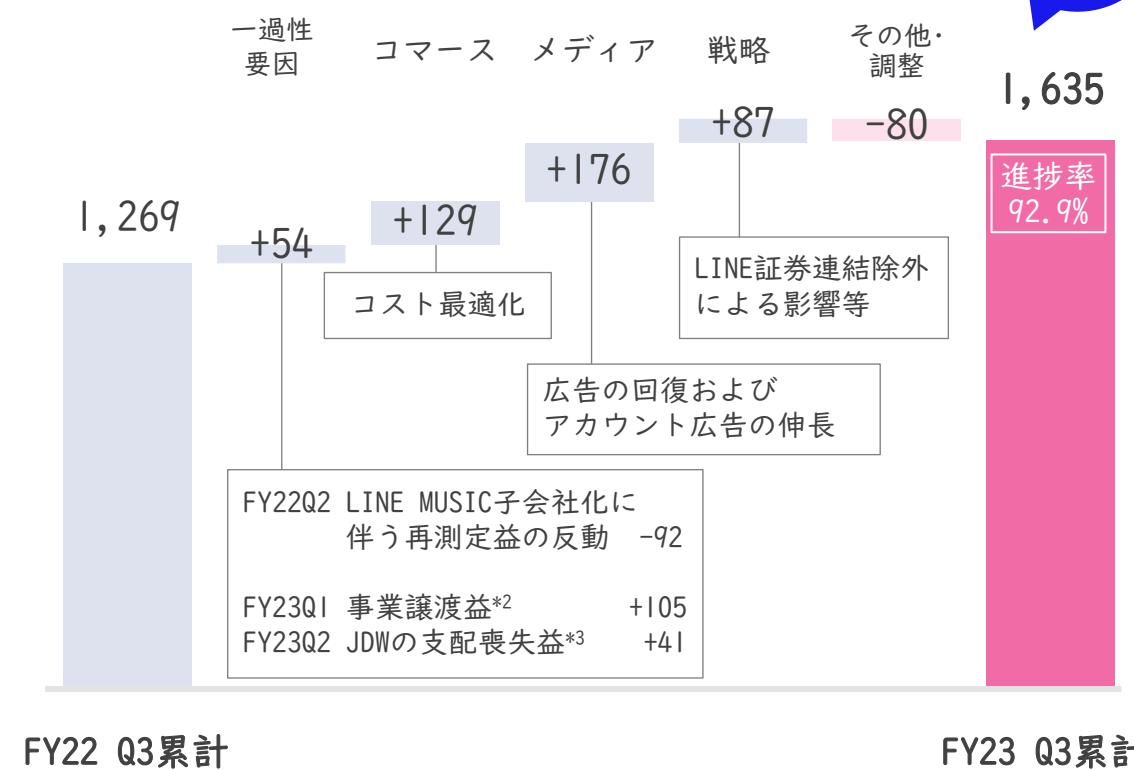
## セグメント売上高\*1

(億円)



## セグメント利益\*1

(億円)



\*1: FY23 Q1およびQ3において、LINEヤフー株(旧Zホールディングス株)(以下「LY」)グループでは、事業の管理区分を見直し、一部のサービスなどについて区分を移管。これに伴い、メディア・EC事業のFY22 Q3累計の売上高の内訳すべてを修正再表示。セグメント利益の増減は遡及後のFY22 Q3累計を基に算定 \*2: LINE株が営むAIカンパニー事業をワークスマバイルジャパン株に承継したことに係る事業譲渡益 \*3: 台湾にて「LINE TAXI」を手掛けるJDW Co.,Ltd.に第三者からの出資が実施され、子会社から除外したことにより生じた子会社の支配喪失に伴う利益

# PayPayの連結子会社化により減益。実力値は83億円の改善

## セグメント売上高

(億円)

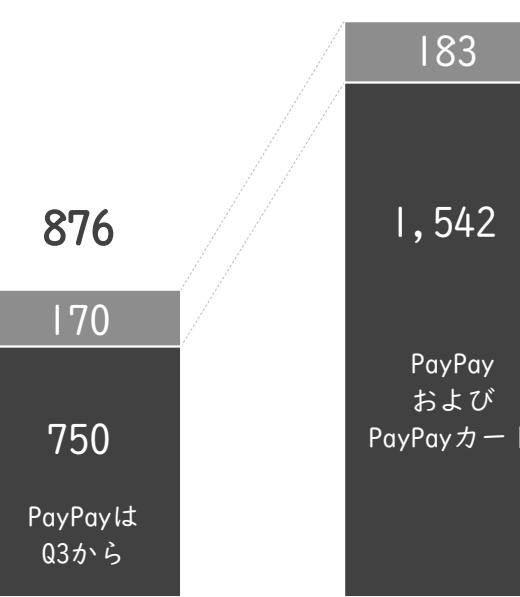
(億円)

SBペイメント  
サービスPayPay連結<sup>\*1\*2</sup>PayPayは  
Q3から内部取引ほか<sup>\*3</sup>

-45

750

170



FY22 Q3累計

FY23 Q3累計

YoY  
+833  
+95.2%

+13 +7.6%

+791 +105.4%

+29

## セグメント利益

(億円)

(億円)

0

24

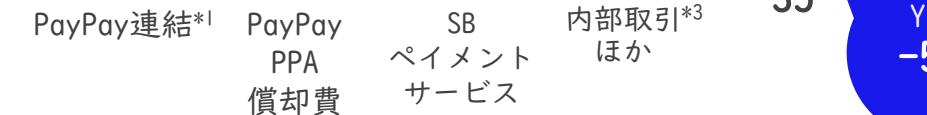
-30

-26

+8

-12

-35

YoY  
-59

FY22 Q3累計

FY23 Q3累計

実力値：PayPayをFY22 Q1から  
連結と仮定した場合の数値

(億円)	FY22Q3累計	FY23Q3累計	YoY
セグメント利益	-118	-35	+83

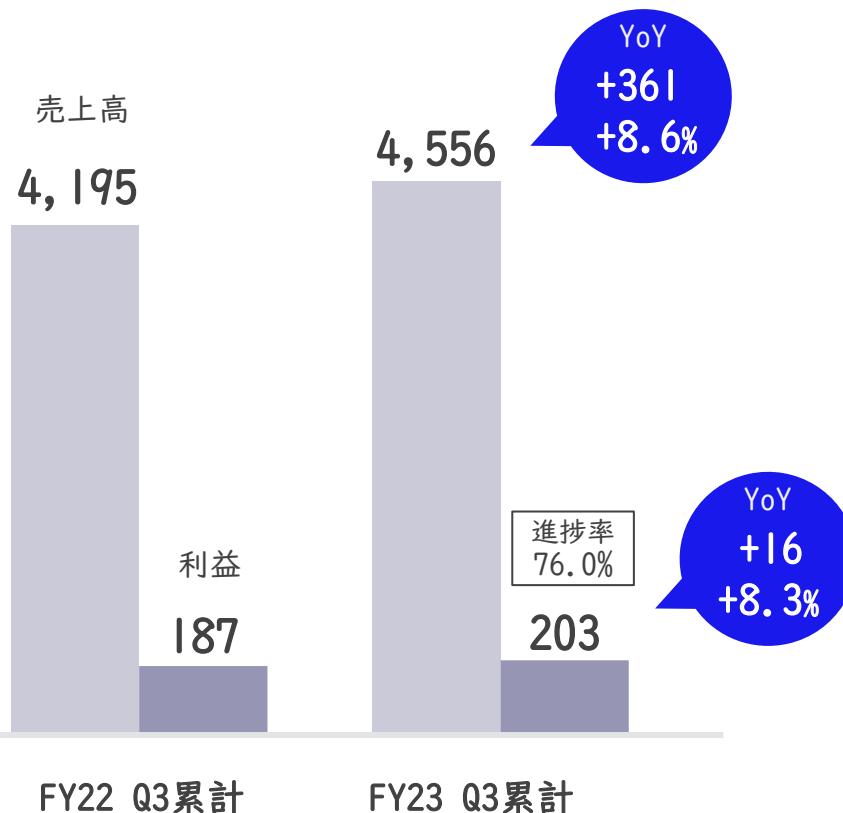
上期(PayPay子会社化影響)  
(PayPayカード費用増など) -23  
Q3 (PayPay連結) +14

\*1 : PayPay連結ベース(PayPay(株)、PayPayカード(株)含む、両社間の内部取引控除後)。当社にて関連するIFRS調整を行い独自に算出。非監査。FY22 Q3累計はQ2までPayPayカード(株)のみ、Q3からPayPay(株)を連結。FY23 Q3累計はPayPayカード(株)およびPayPay(株)の業績  
 \*2 : FY22 Q3累計のPayPayカード(株)の売上高には、2022年10月にヤフー(株)から承継したアクワイアリング事業の売上を含まない \*3 : 「内部取引ほか」に、PayPay証券(株)単体、PayPay(株)とPayPayカード(株)間の内部取引以外のファイナンス事業内の会社間の内部取引を含む  
 \*2024年2月7日に公表した「投資家向け説明会 2024年3月期 第3四半期」のファイナンス事業のセグメント売上高におけるFY23 Q3累計の数値を訂正。PayPay連結(誤: 1,570→正: 1,542)、内部取引ほか(誤: -44→正: -16) (2024年5月9日)

# ディストリビューションは法人向けICT領域の好調により増収増益

## ディストリビューション事業 売上高・利益

(億円)



## その他\*1 利益

(億円)

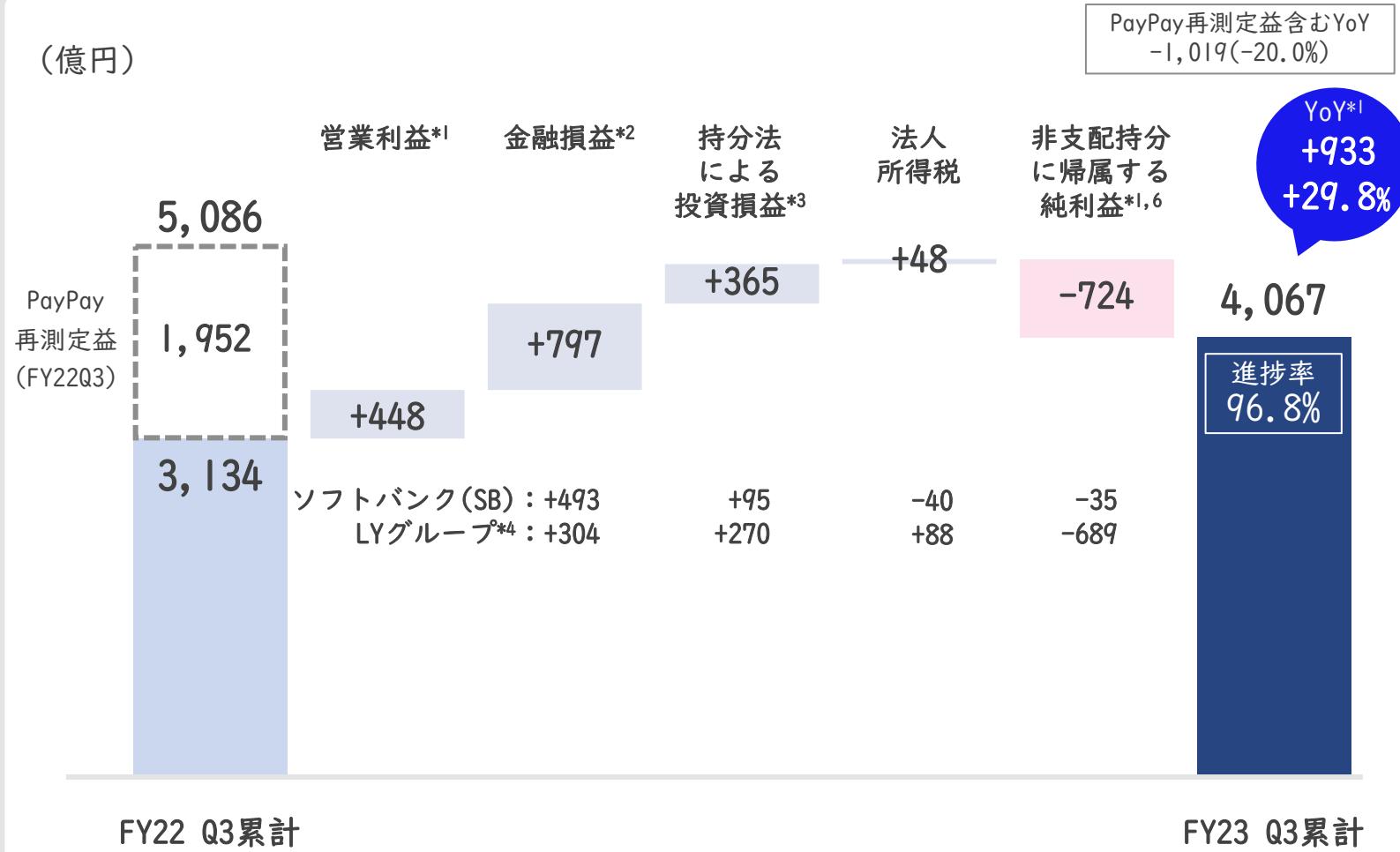
	FY22 Q3累計	FY23 Q3累計	増減	増減率
SBプレイヤーズ*2	26	34	+8	+30%
SBテクノロジー*2	35	36	+1	+2%
アイティメディア	22	16	-6	-28%
その他 (調整含む)*3	-89	-47	+41	-
合計	-6	38	+44	-

\*1：ファイナンス事業新設に伴い、一部子会社を移管 \*2：日本基準

\*3：当社子会社のSBテクノロジー(株)におけるフォントワークス(株)の株式譲渡に伴い、FY23Q2に支配喪失に伴う利益を計上

# 営業利益の増加や前年の減損/評価損の反動などにより大幅増益 (PayPay再測定益除く) 通期予想を上回るペースで進捗

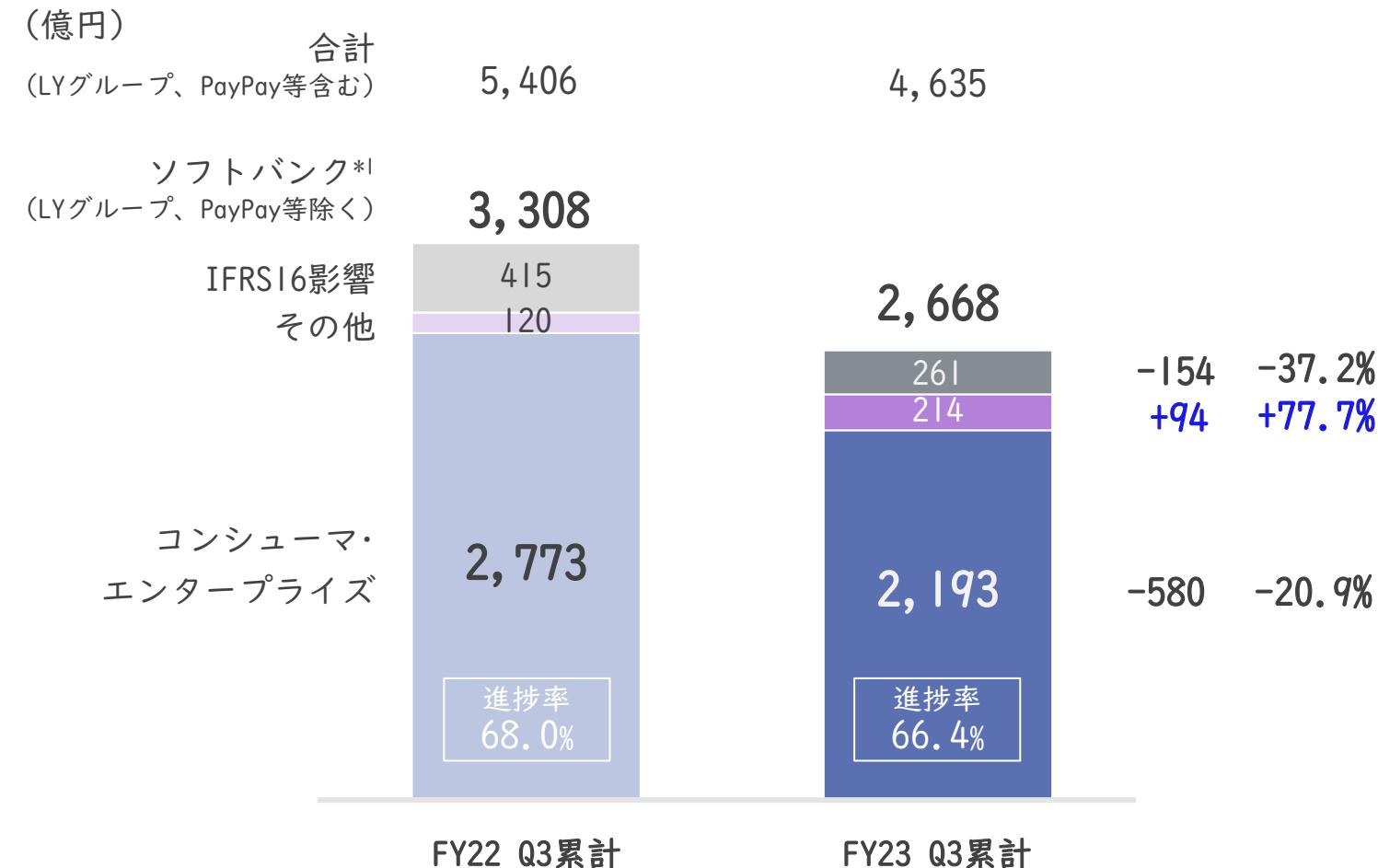
(億円)



- 通期予想4,200億円に対する進捗率96.8%
- 金融損益<sup>\*2</sup>  
SB : 前年同期の減損/評価損<sup>\*5</sup> / 訴訟に係る遅延損害金の反動  
LY : 前年同期の減損損失の反動(出前館)
- 持分法による投資損益<sup>\*3</sup>  
SB : PayPay子会社化などにより改善  
LY : Webtoonに対する持分比率変動に伴う利益、前年度の出前館およびLINE関連会社などの損失の反動
- 非支配持分に帰属する純利益  
LYグループの純利益増加により拡大(FY22Q3のPayPay再測定益を除く<sup>\*6</sup>)

\*1 : FY22Q3のPayPay再測定益を除く \*2 : 金融損益は金融収益・費用、持分法による投資の売却損益、持分法による投資の減損損失を含む \*3 : 持分法による投資損益には持分変動損益を含む \*4 : ソフトバンクの財務諸表に基づき算出 \*5 : 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産(FVTPL金融資産)に係る前年同期の評価損の反動 \*6 : PayPay再測定益含む金額は+272億円

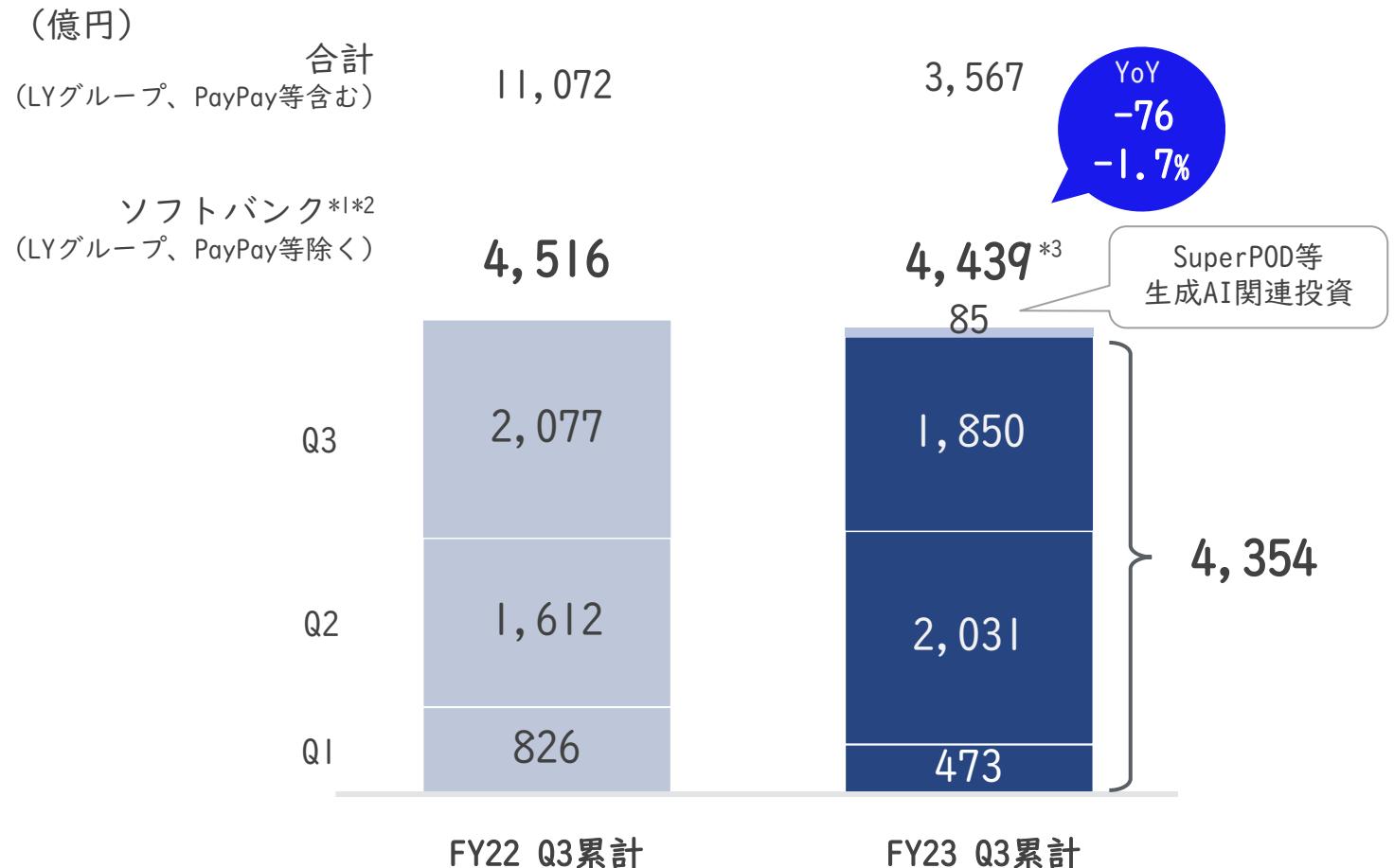
# 5Gのエリア展開に係る設備投資が一巡したことにより減少



- コンシューマ・エンタープライズの設備投資(IFRS16影響除く)の進捗率は66.4%

今期設備投資計画 3,300億円  
前年実績 4,075億円

# 高水準の調整後FCF創出に向けて順調に推移



- 営業CF YoY EBITDAの増加 法人税支出の増加 ワーキングキャピタルの増加 -362億円
- 投資CF YoY +285億円 設備投資資金の支払が減少 投融資の減少
- 今期も前期に引き続き高水準の調整後FCFを創出
- SuperPOD等生成AI関連投資85億円は社債型種類株式発行による資金を充当

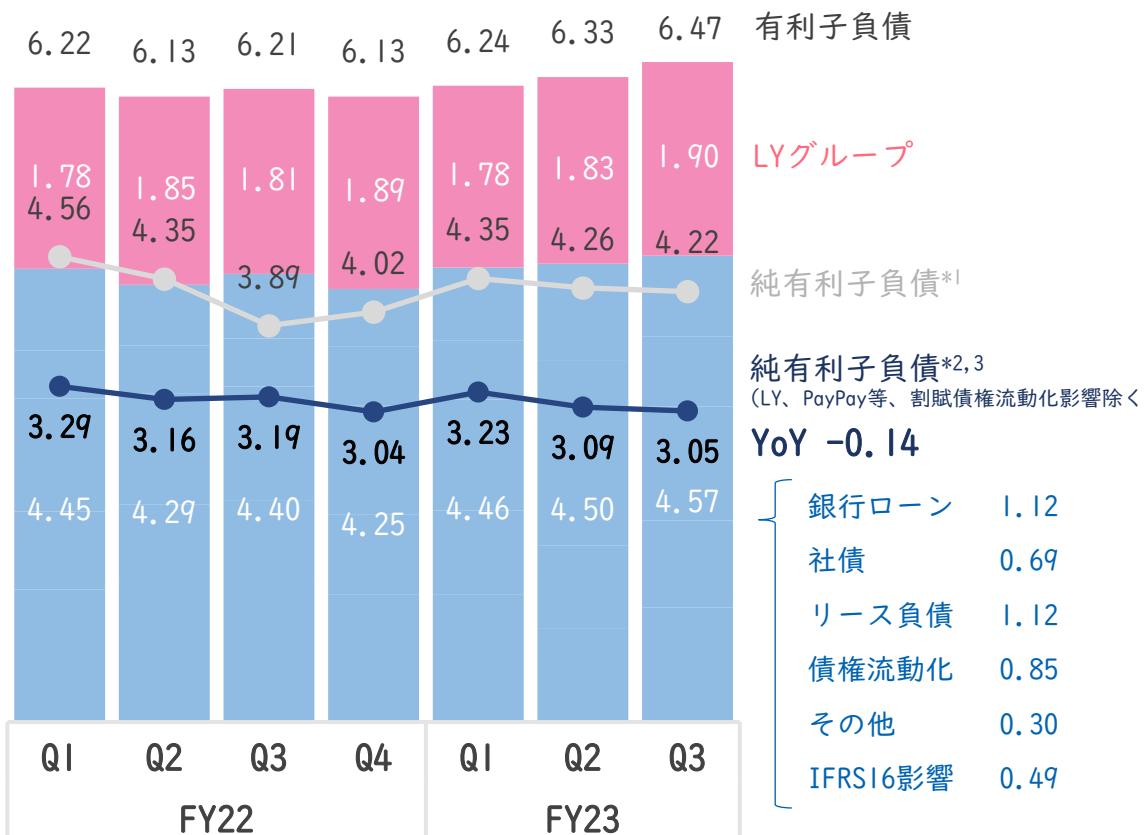
\* 調整後FCF = FCF + (割賦債権の流動化による調達額 - 同返済額) \*1 : AHD、LYグループ、BHD、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)、PPSCインベストメントサービス(株)のFCF、役員への貸付などを除き、AHDからの受取配当を含む \*2 : FY23Q2より定義を変更し、「LYグループ、PayPay等」にPayPay証券(株)およびPPSCインベストメントサービス(株)を加えたことに伴い、FY23Q1数値を遡及修正 \*3 : SuperPOD等生成AI関連に対する投資を除く

純有利子負債は前年同期比で約1,400億円減少

期末のネットレバレッジ・レシオは前年の2.5x以下を見込む

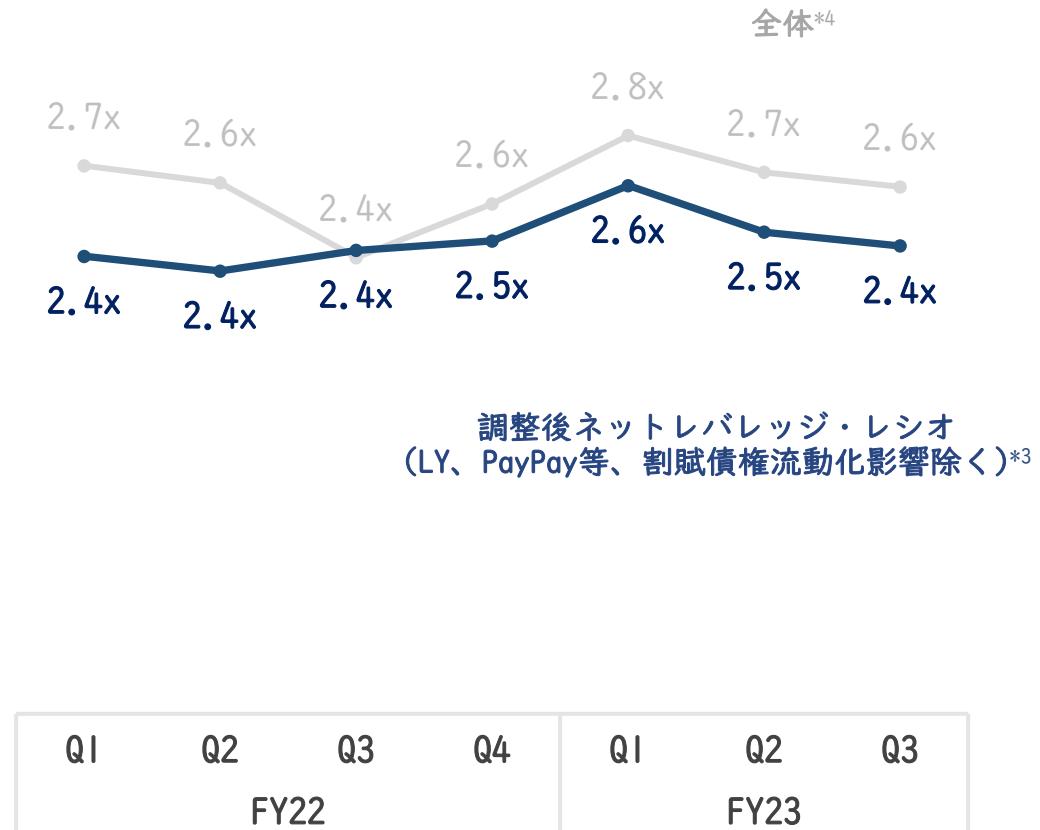
### 有利子負債・純有利子負債

(兆円)



### ネットレバレッジ・レシオ

(倍)



\* 有利子負債(LY、PayPay等除く)の内訳はデータシートP.4参照 \*1：純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物 - 債権流動化現金準備金 \*2：「LY、PayPay等、割賦債権流動化影響除く」は、AHD、LYグループ、BHD、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)、PPSCインベストメントサービス(株)に係る純有利子負債と調整後EBITDA、割賦債権流動化に係る有利子負債および債権流動化現金準備金を除く \*3：FY23Q2より定義を変更し、「LY、PayPay等」にPayPay証券(株)およびPPSCインベストメントサービス(株)を加えたことに伴い、FY23Q1数値を遡及修正 \*4：ネットレバレッジ・レシオ=純有利子負債÷調整後EBITDA(該当四半期の直近12ヶ月)

# 社債型種類株式発行により自己資本は増加

(億円)	23年3月末	23年12月末	増減
現金及び現金同等物	20,592	21,949	+1,357
その他資産	126,230	131,981	+5,751
資産合計（純資産）	146,822	153,930	+7,108
有利子負債	61,345	64,719	+3,374
その他負債	48,646	50,760	+2,114
負債合計	109,991	115,479	+5,488
親会社の所有者に帰属する持分（自己資本）	22,249	23,123	+874
非支配持分	14,581	15,328	+747
資本合計（純資産）	36,831	38,451	+1,620
純有利子負債*1	40,201	42,222	+2,021
自己資本比率*2	15.2%	15.0%	-0.1%
純資産比率 純資産に対する資本の割合	25.1%	25.0%	-0.1%

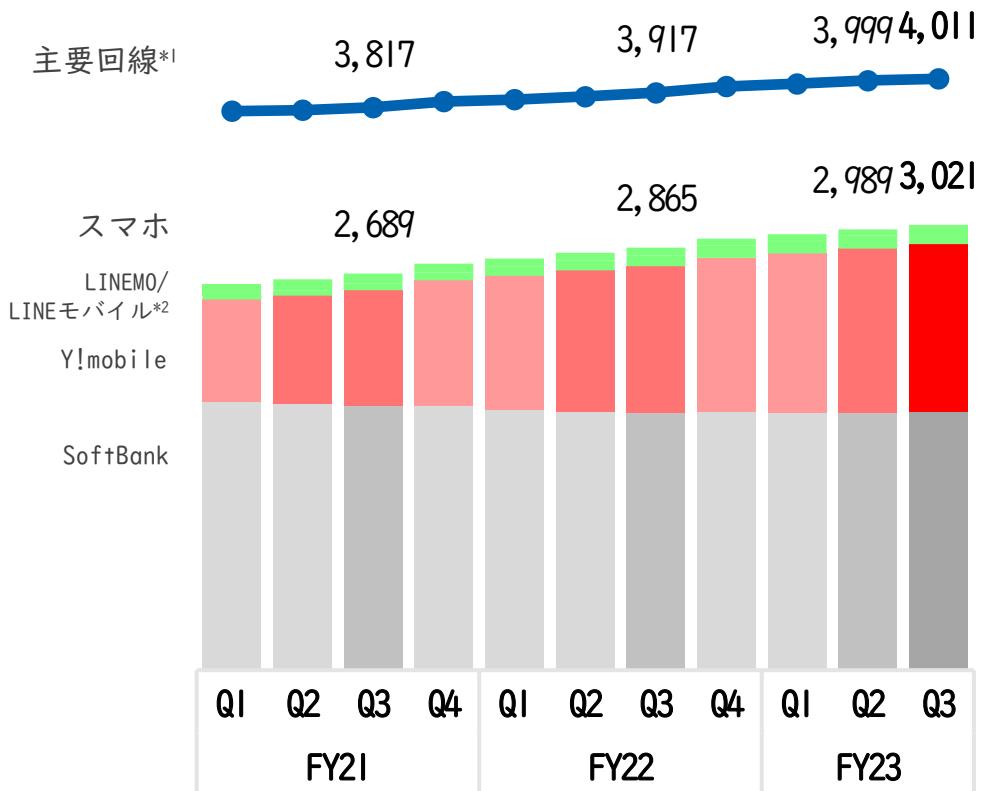
- ・ その他資産 +5,751億円  
主に銀行事業の有価証券、営業債権  
及びその他の債権、その他の金融資産  
などにより増加
- ・ 有利子負債 +3,374億円  
ソフトバンクで資金調達を実施
- ・ 資本（純資産） +1,620億円  
剰余金の配当と自社株買いで減少  
純利益、社債型種類株式発行などで  
増加

\*1：純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物 - 債権流動化現金準備金

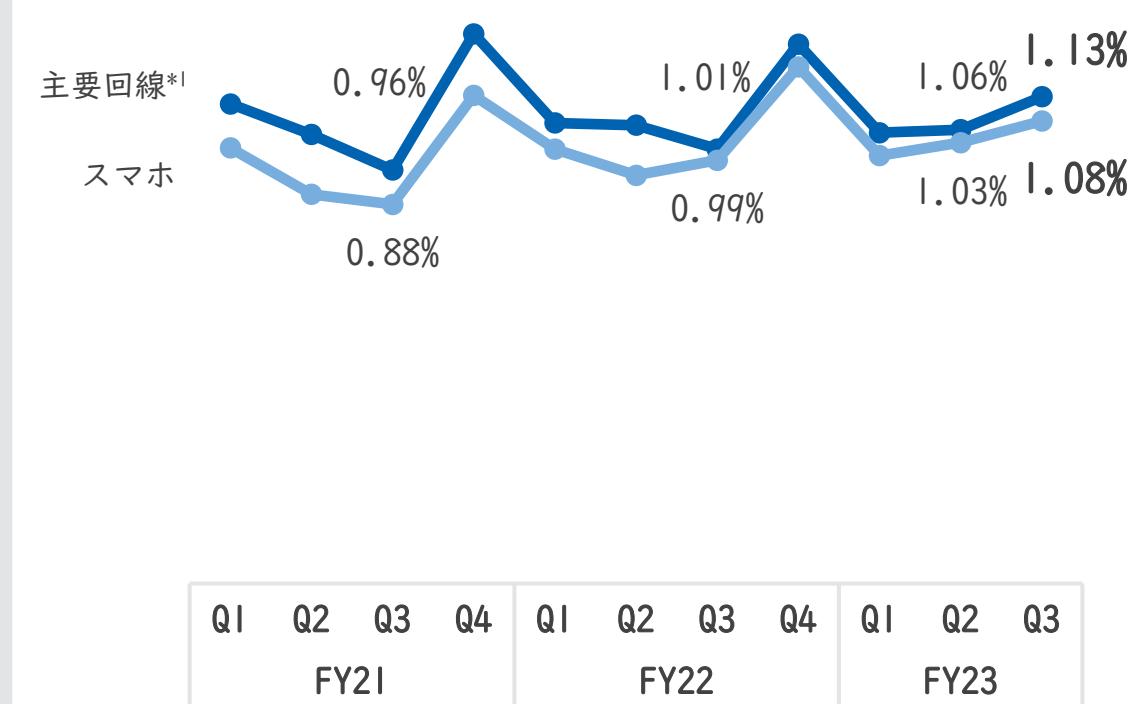
\*2：自己資本比率 = 親会社の所有者に帰属する持分 ÷ 純資産

モバイル契約数が順調に増加  
スマホ解約率は市場の流動性が高まり前年同期比で+0.09%

モバイル累計契約数  
(万件)



解約率  
(%)

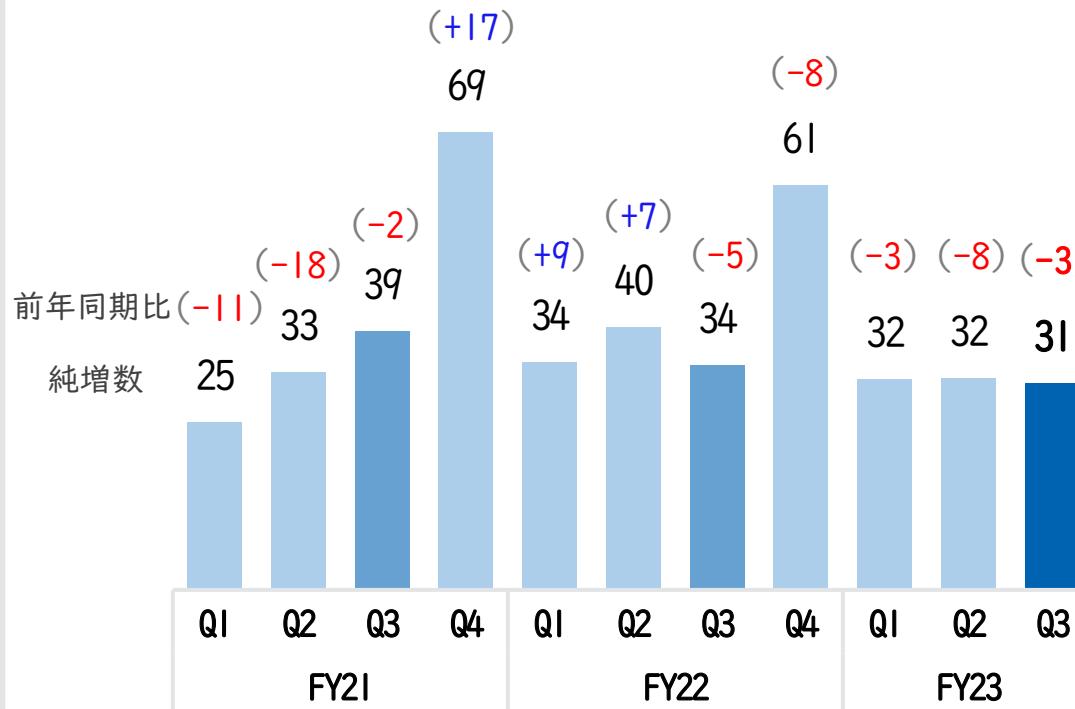


\* 法人契約を含む

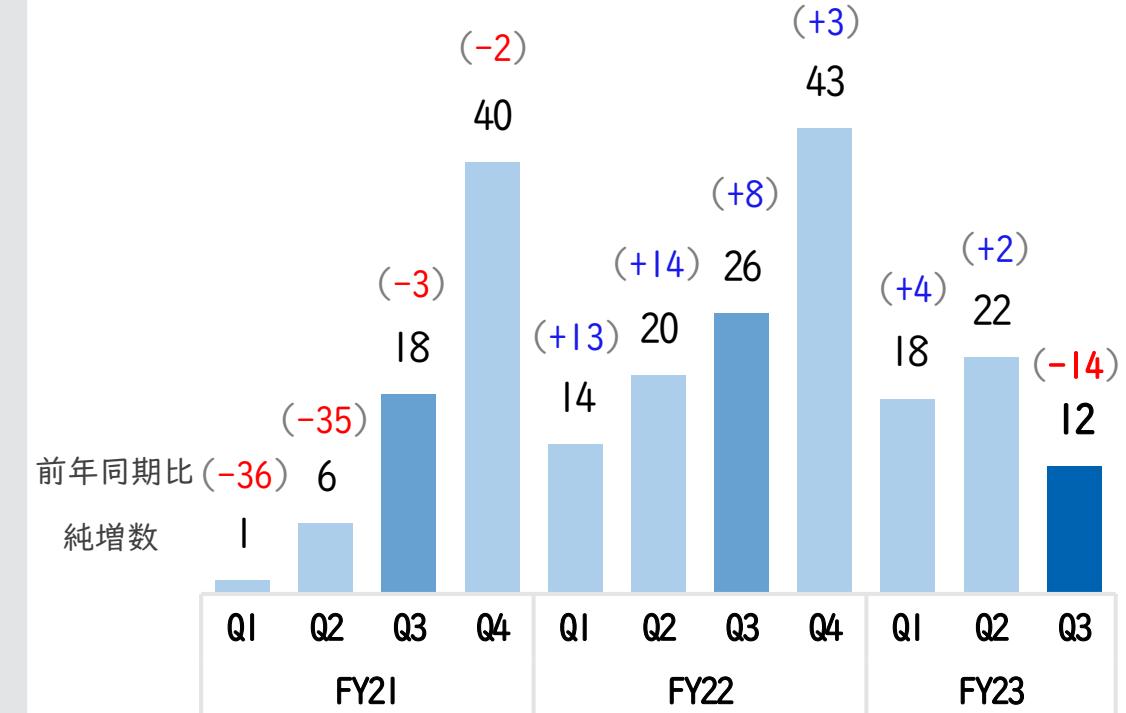
\*1：スマートフォン、従来型携帯電話、タブレット、モバイルデータ通信端末、「おうちでのんわ」など \*2：「LINEMO」と「LINEモバイル」の契約数を合算表示

スマホ純増数は堅調に推移、主要回線純増数は法人タブレットの減少や3Gサービス終了に伴う従来型携帯電話の解約等により減少

スマホ 純増数\*<sup>1</sup> (対前四半期末)  
(万件)



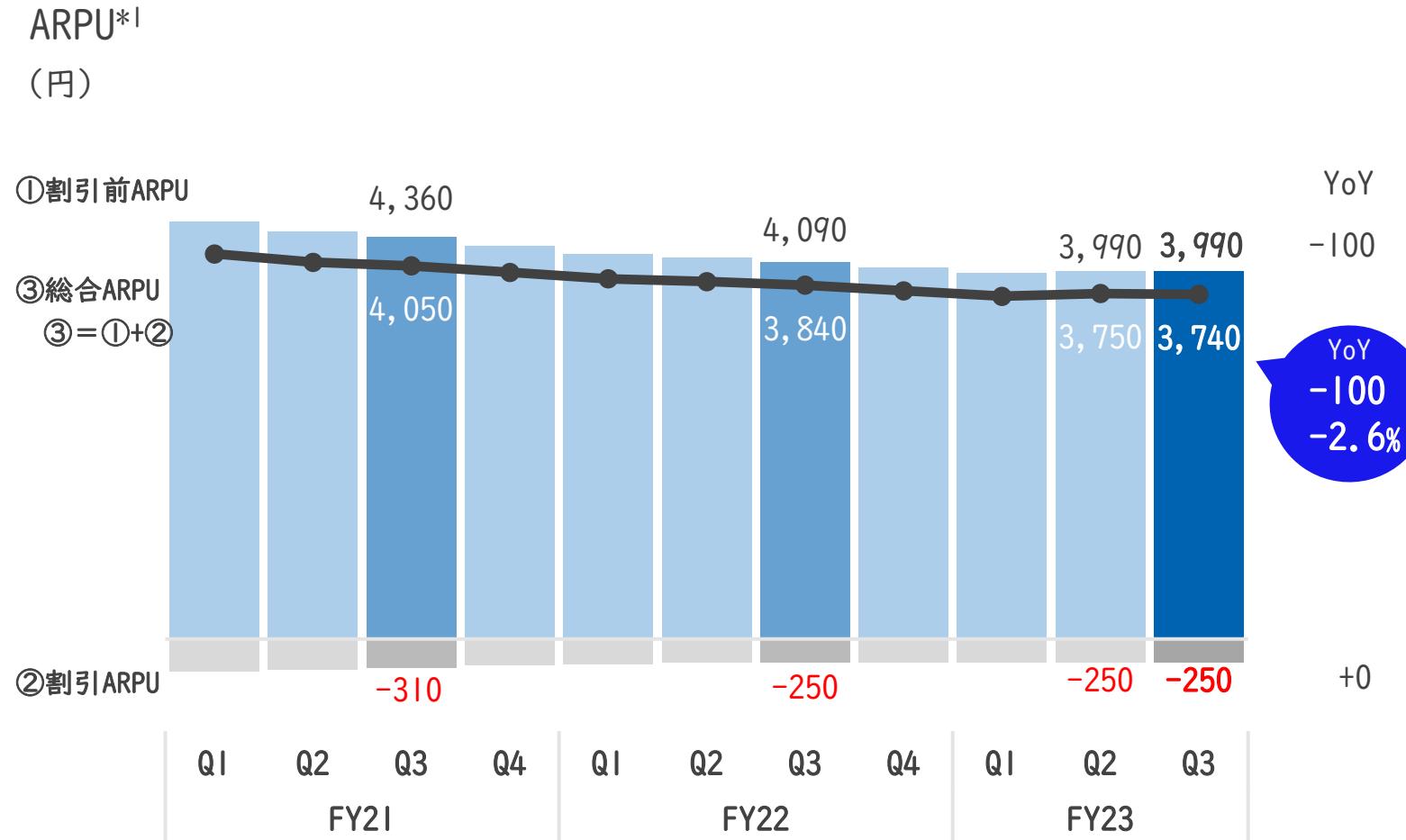
主要回線 純増数\*<sup>1</sup> (対前四半期末)  
(万件)



\* 法人契約を含む

\*<sup>1</sup>：純増数 = 該当四半期末の累計契約数 - 前四半期末の累計契約数

# ARPUの前年同期比の減少幅は縮小。絶対値は横ばいで推移



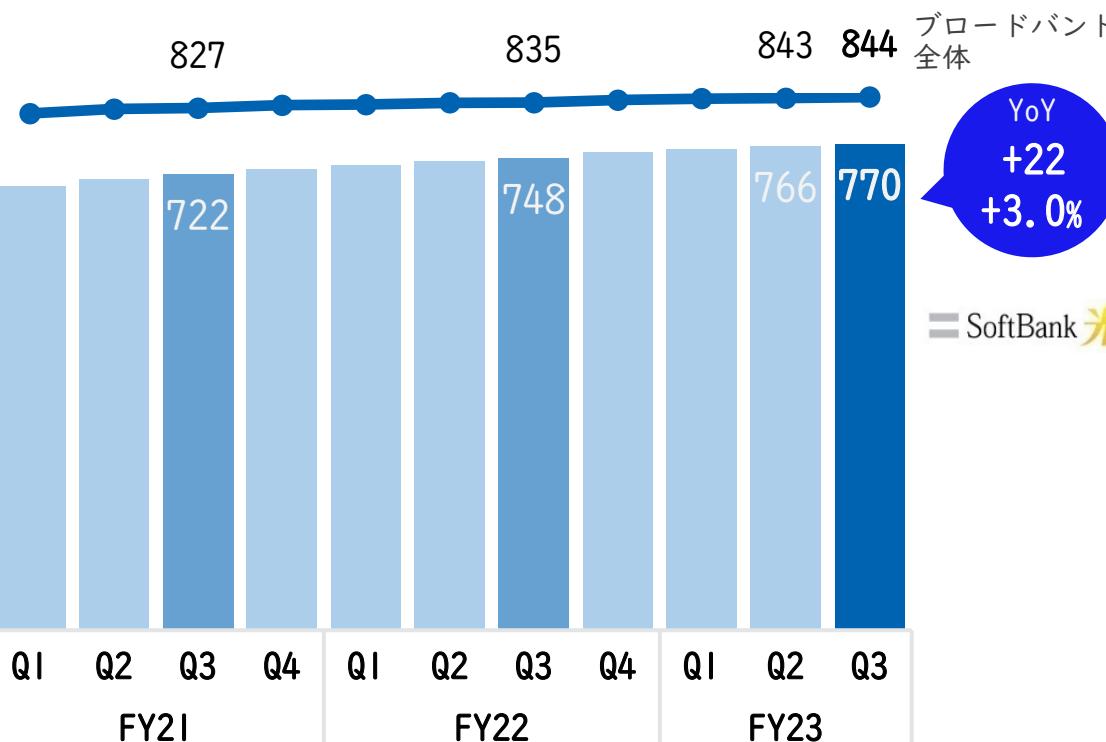
- 割引前ARPU    YoY -100円
  - (-) 通信料値下げ影響(約-70円)  
「ワイモバイル」構成比増
  - (+) 付加価値サービスの拡大  
「スマホデビュープラン+」浸透に伴う単価増

年度	総合ARPU YoY増減推移 (円)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
FY22	-270	-200	-210	-200	-220
		(-230)* <sup>2</sup>			
FY23	-190	-140	-100	—	-130 (見通し)

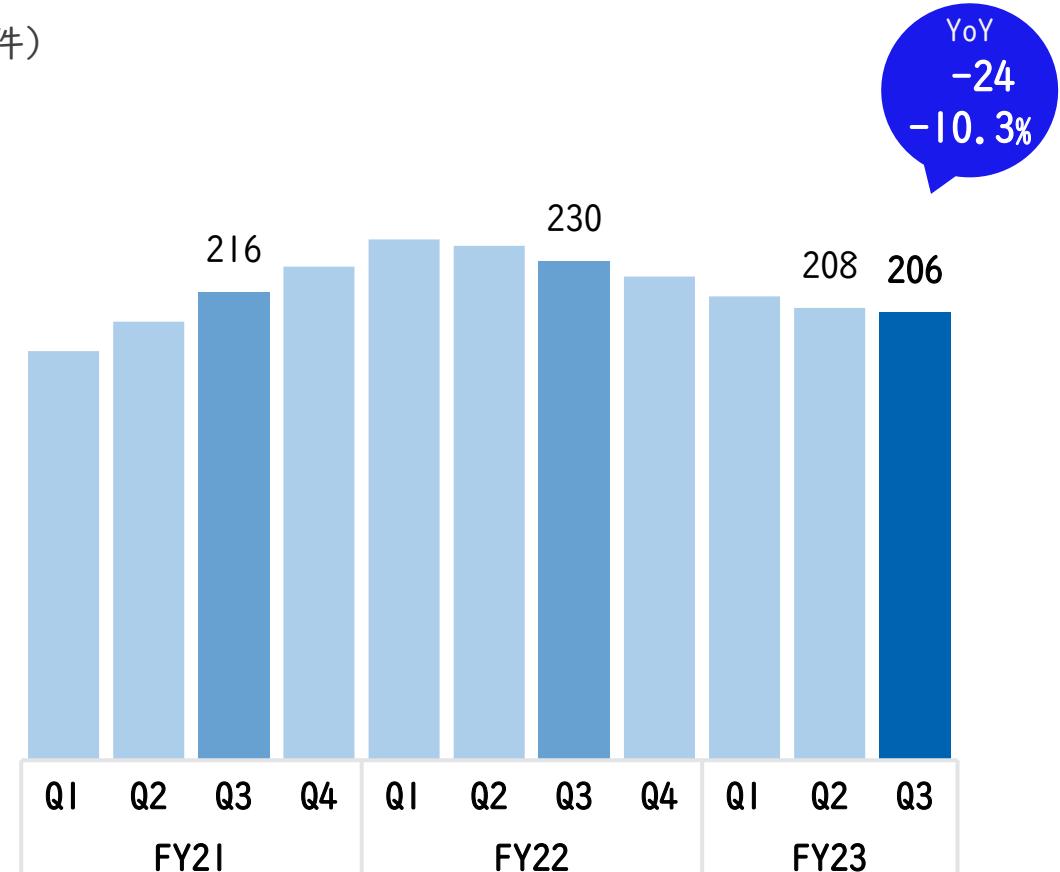
\* 法人契約を含む \*1 : ARPU(Average Revenue Per User) = 1契約当たりの月間平均収入(10円未満を四捨五入して開示)。ポイント等や端末購入サポートプログラムに係る通信サービス売上控除額はARPUに不算入 \*2 : 一過性要因(FY21におけるデータクリッピングの提供開始および基本料1ヶ月無料の反動)を除く

ブロードバンド：ソフトバンク光の契約数は引き続き拡大  
でんき：契約数は対前年同期で減少。順次獲得を本格化

ブロードバンド累計契約数(開通)  
(万件)



でんき累計契約数\*<sup>1</sup>  
(万件)

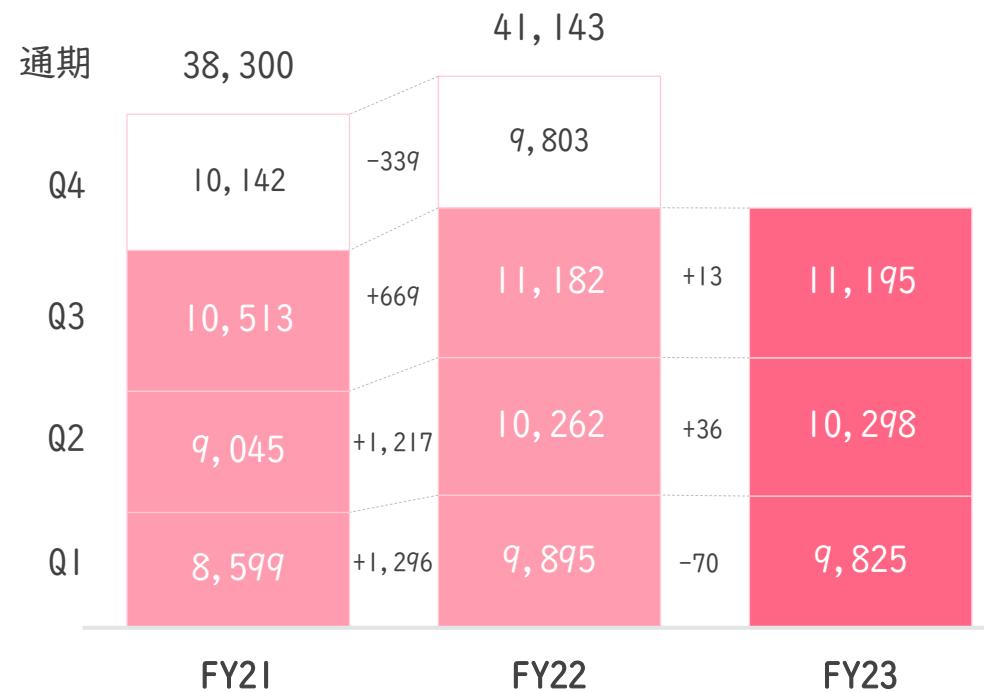


\*<sup>1</sup>：でんきは、「おうちでんき」などの電力の売買・供給および売買の仲介サービス

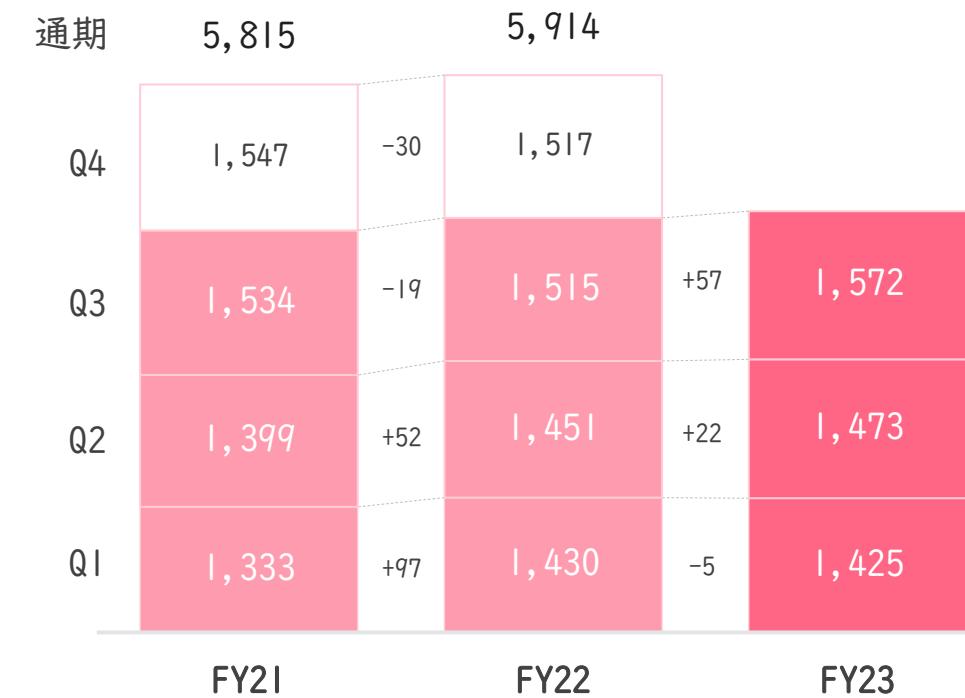
## eコマース取扱高と広告関連売上は、ともにFY22Q4を底に前年同期比回復傾向

eコマース取扱高<sup>\*1,2</sup>

(億円)

全社広告関連売上収益<sup>\*2,3</sup>

(億円)



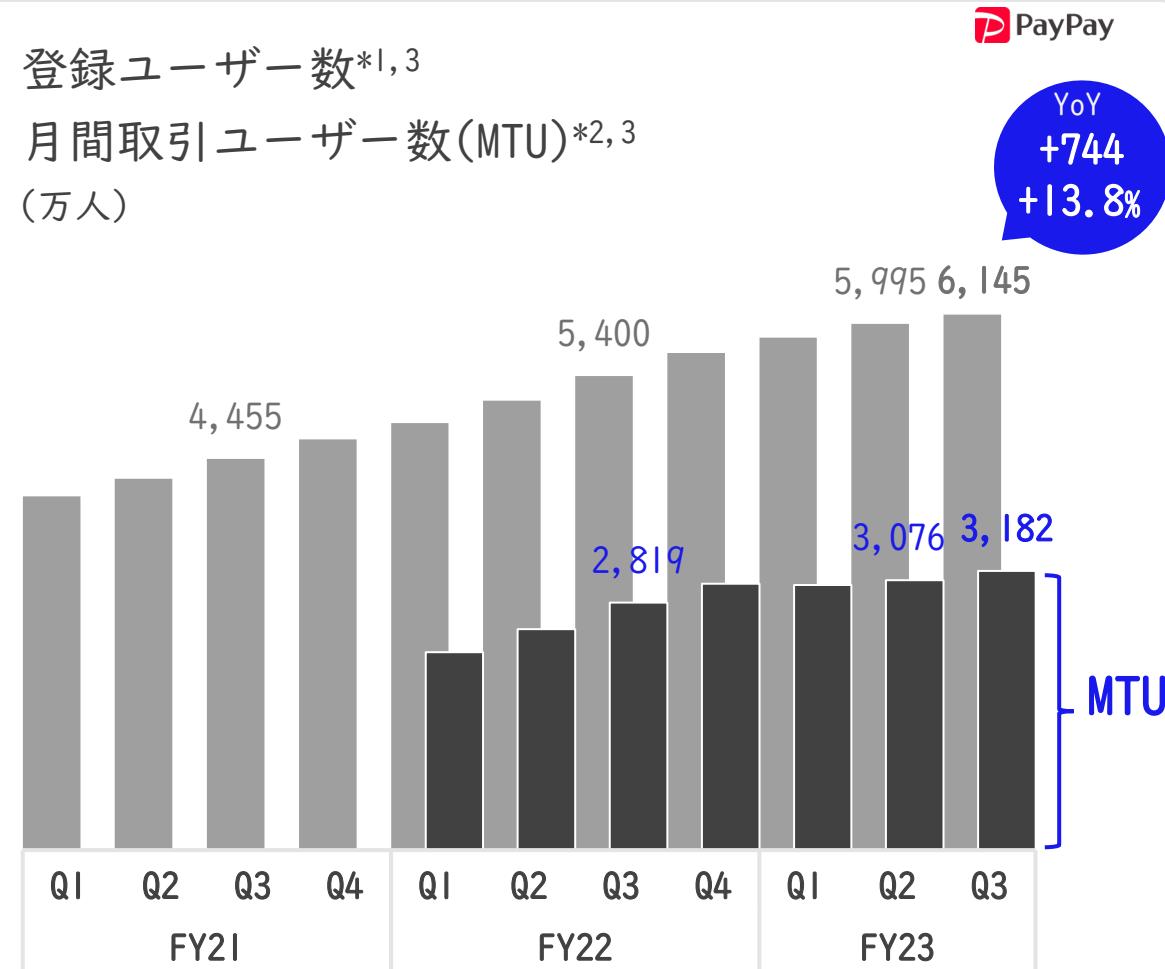
\*1：国内のショッピング事業取扱高、リユース事業取扱高、その他(物販)取扱高、アスクルBtoB事業取扱高、国内サービス系取扱高、国内デジタル系取扱高および海外eコマース取扱高の合計

\*2：値は億円単位で端数を切り捨て \*3：LINE広告関連売上収益とヤフー広告関連売上収益の合計

# 登録ユーザー数は順調に増加、決済回数は25.8%増

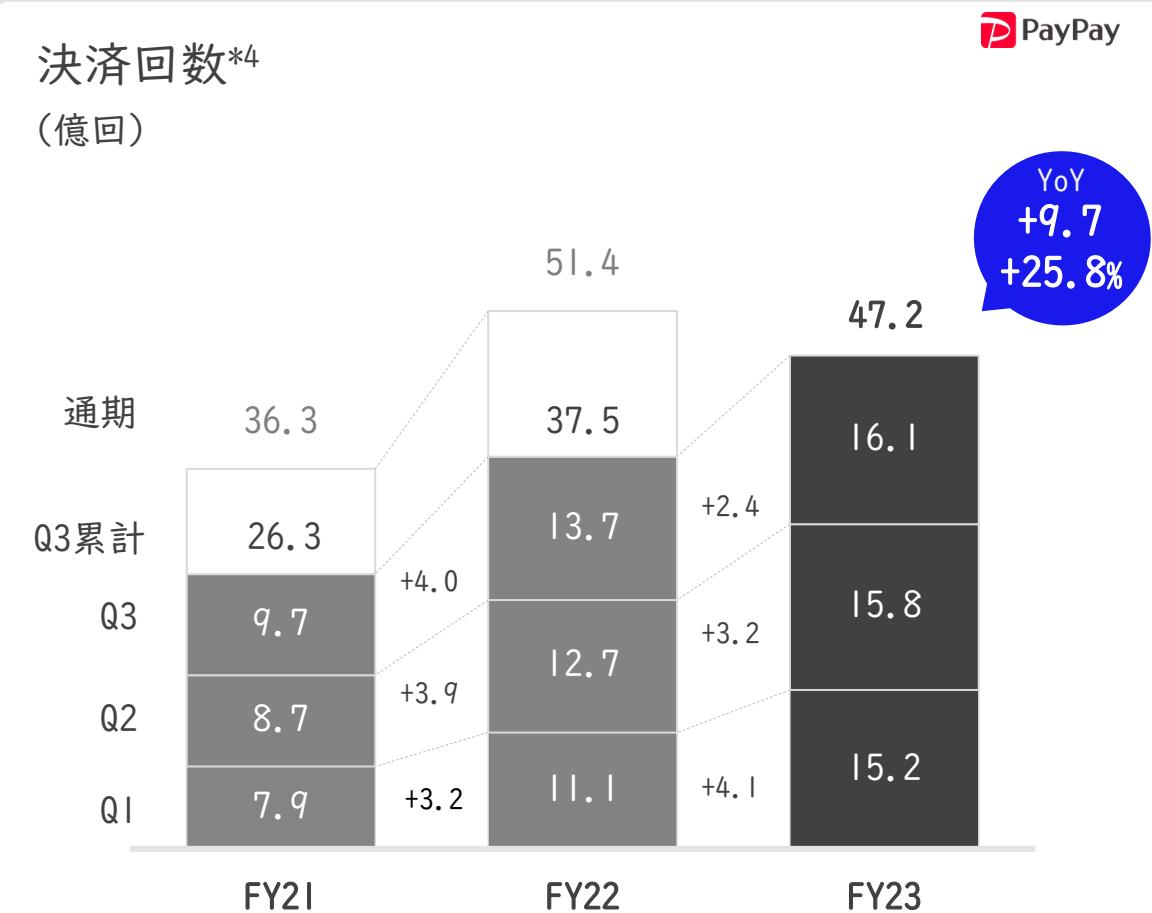
登録ユーザー数\*1, 3

月間取引ユーザー数(MTU)\*2, 3  
(万人)



決済回数\*4

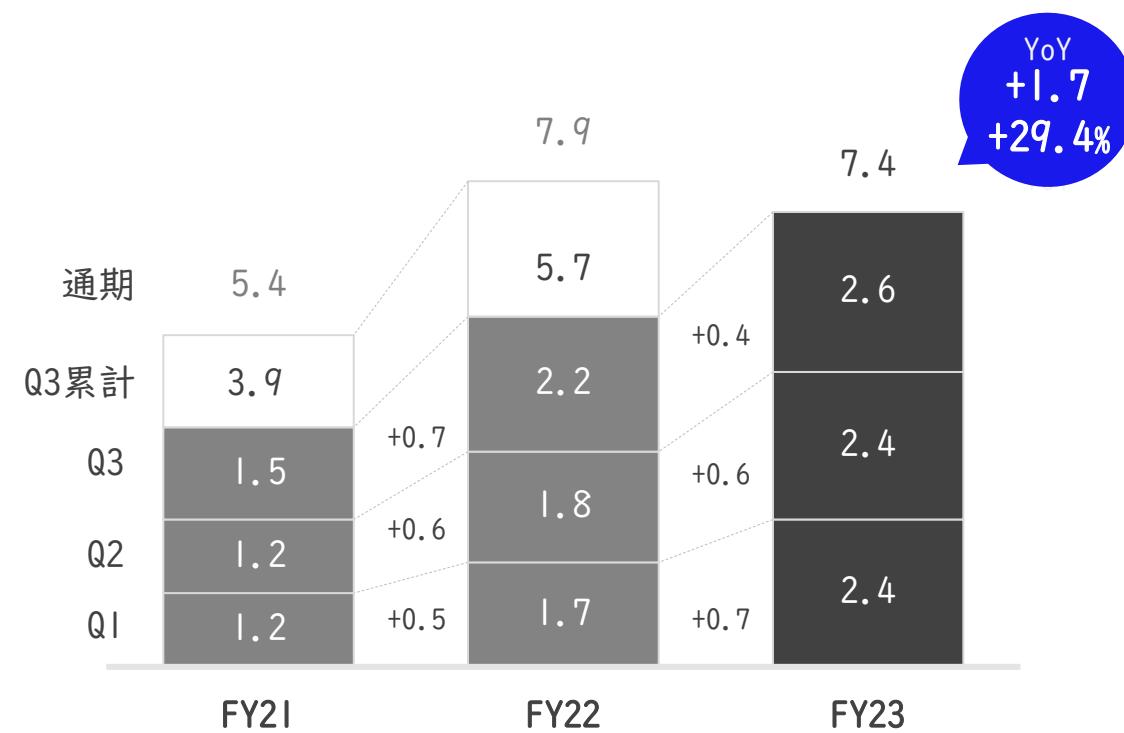
(億回)



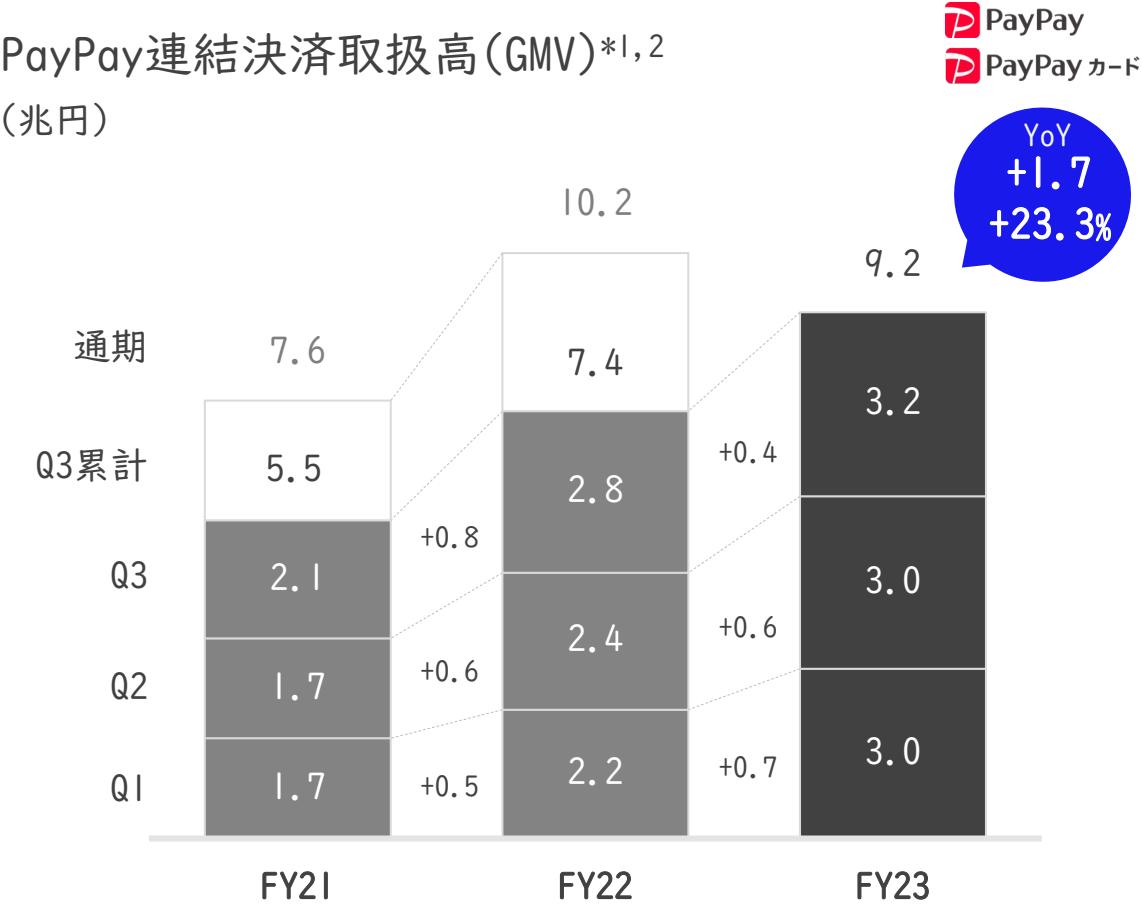
\*1: PayPayのアカウント登録済みユーザー数 \*2: 月間取引ユーザー数MTU (Monthly Transaction Users)は、1ヶ月に1回以上決済を行ったユニークユーザー数。ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済を含む。各四半期末の実績値 \*3: 万人未満を切り捨て開示 \*4: ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。FY21 Q4以降は「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済を含む。2022年2月より提供開始した「クレジット（旧あと払い）」による決済を含む

# 連結・単体の決済取扱高とも引き続き拡大

PayPay単体決済取扱高(GMV)\*<sup>1</sup>  
(兆円)



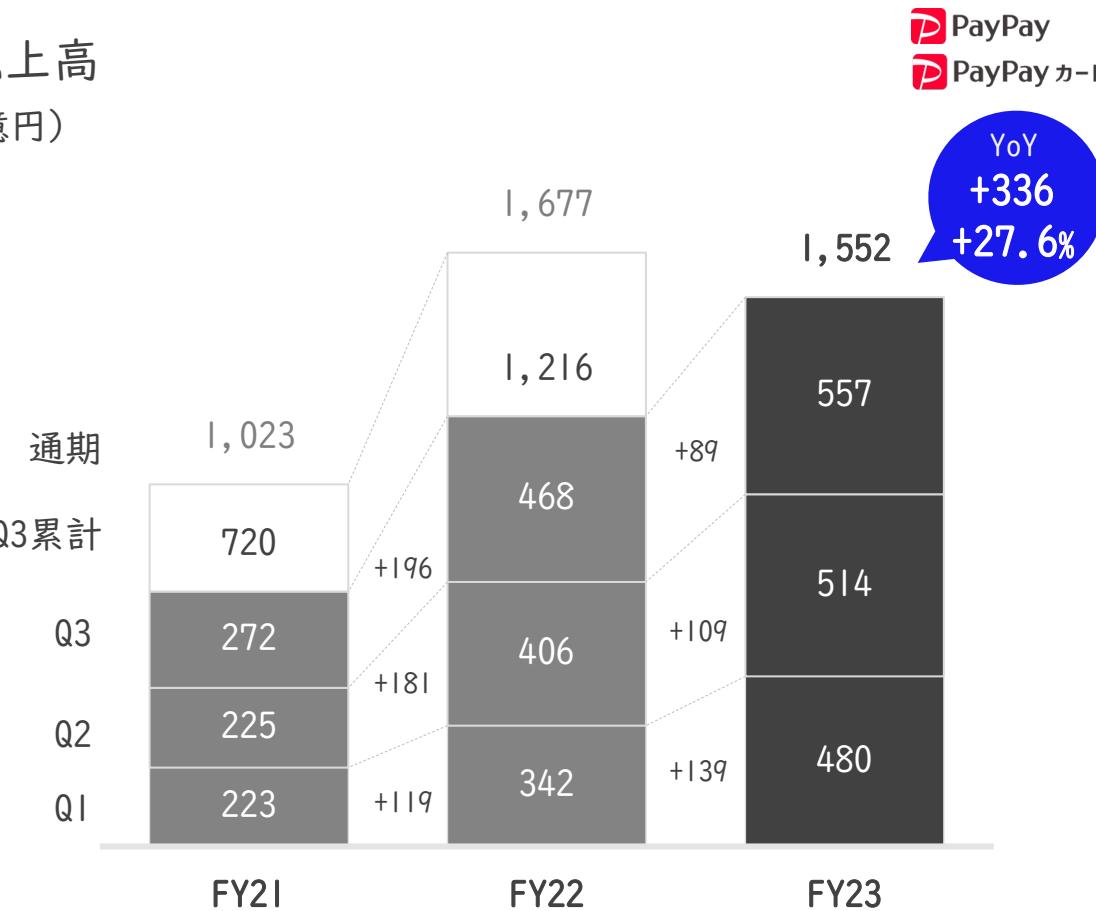
PayPay連結決済取扱高(GMV)\*<sup>1,2</sup>  
(兆円)



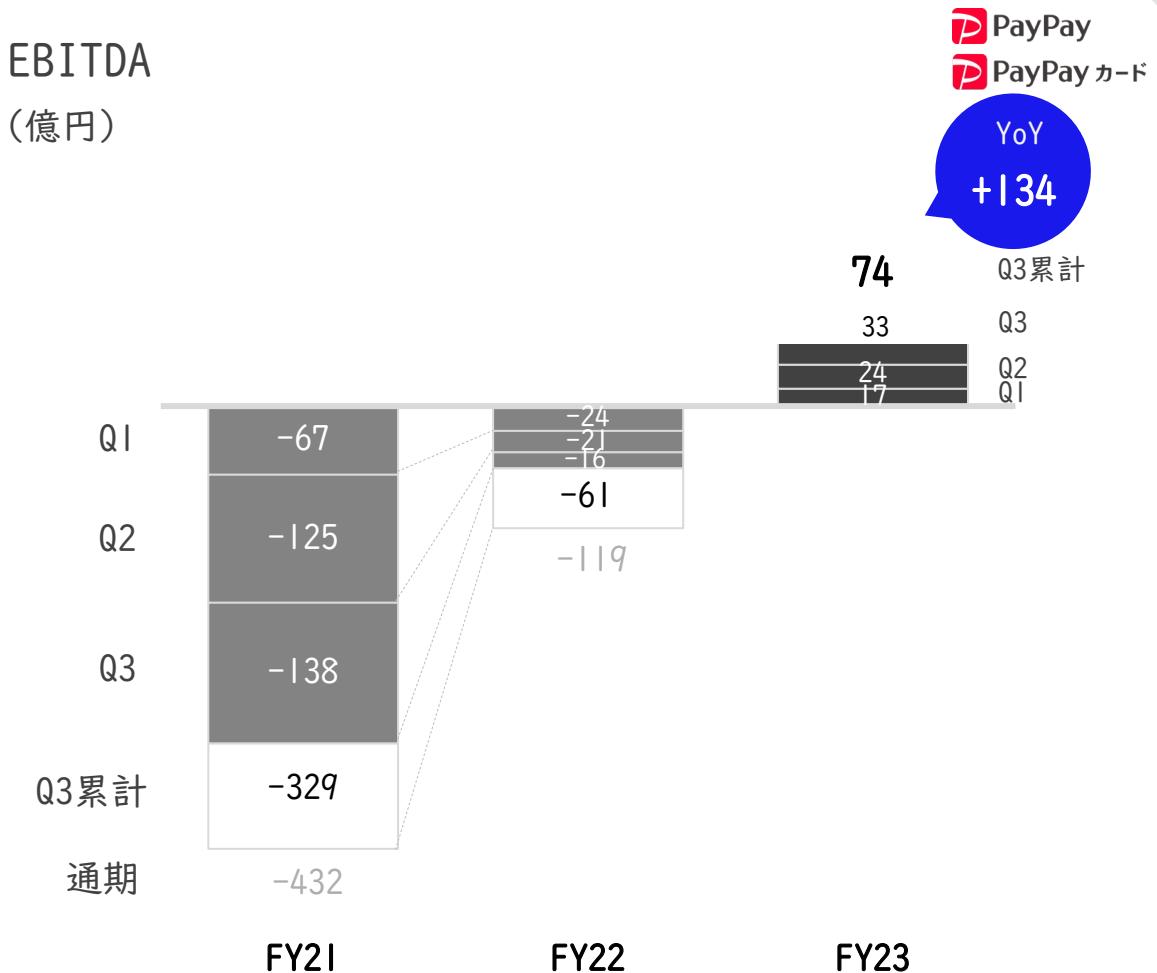
\*1：ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。FY21 Q4以降は「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済を含む。2022年2月より提供開始した「クレジット（旧あと払い）」による決済を含む \*2：FY21に遡ってPayPayカード(株)の決済取扱高をPayPay(株)の決済取扱高と合算し、PayPay(株)とPayPayカード(株)の内部取引を消去

# 売上高は順調に拡大、EBITDAは3四半期連続で黒字

売上高  
(億円)



EBITDA  
(億円)

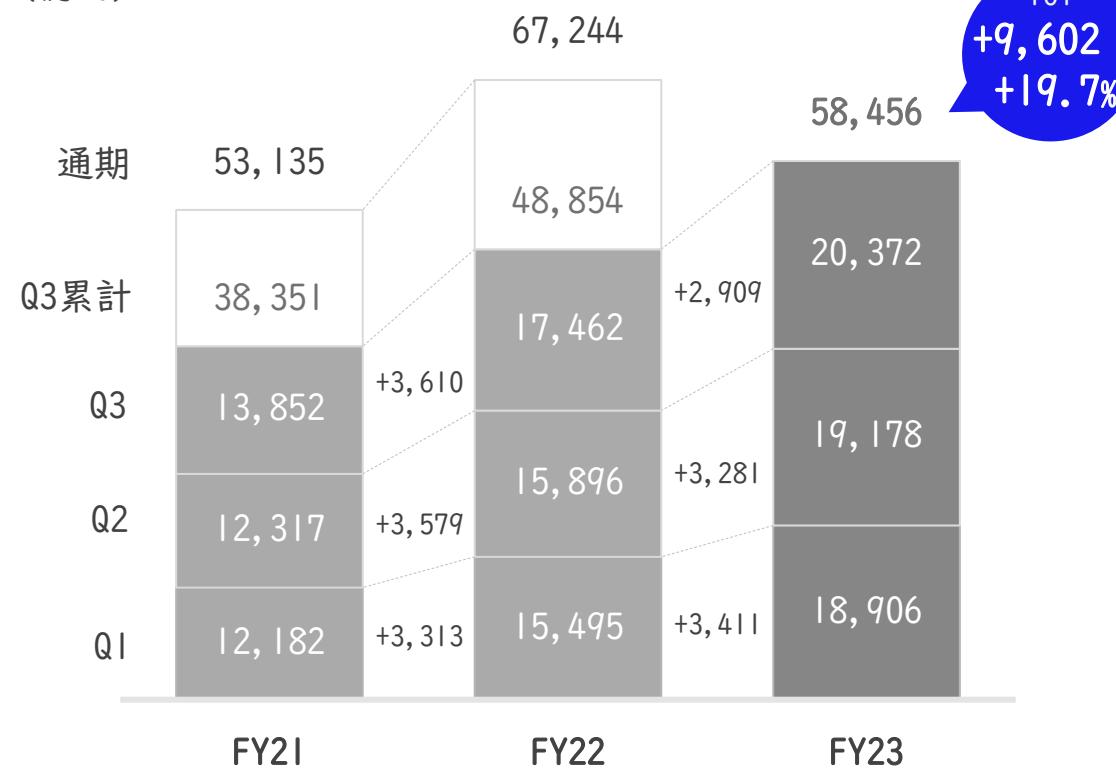


\* 持分プーリング法の適用により、PayPayカード(株)の財務諸表をFY21期初からPayPay(株)に連結。売上高、EBITDAとともにFY21期初からPayPay連結ベース、IFRS。非監査。  
EBITDAは営業利益に減価償却費および固定資産除却損を足して算出

# 決済取扱高は引き続き2桁成長、非通信が成長をけん引

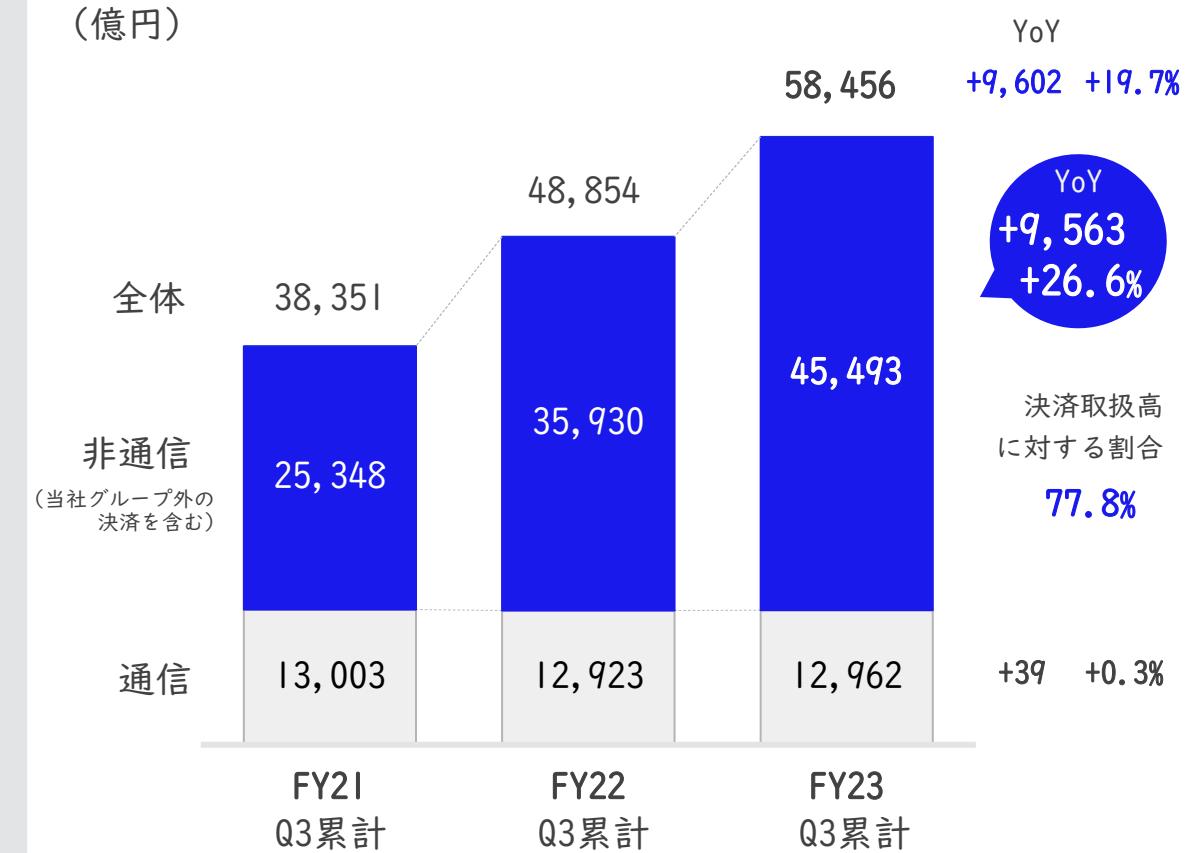
決済取扱高\*

(億円)



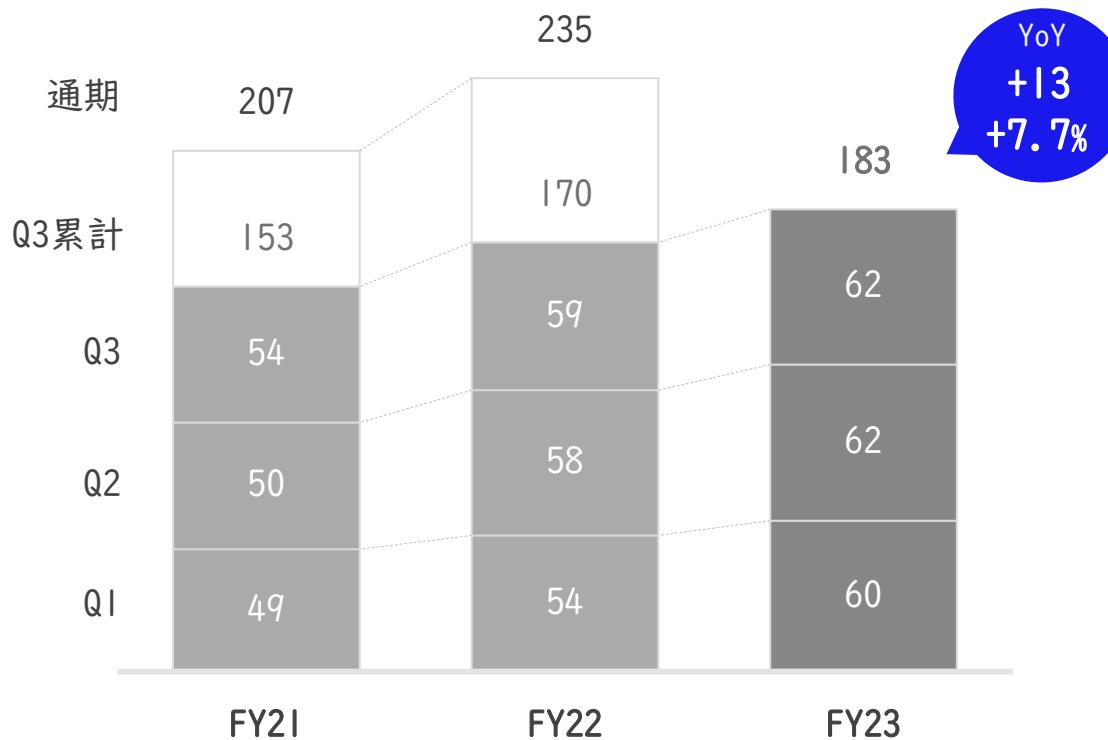
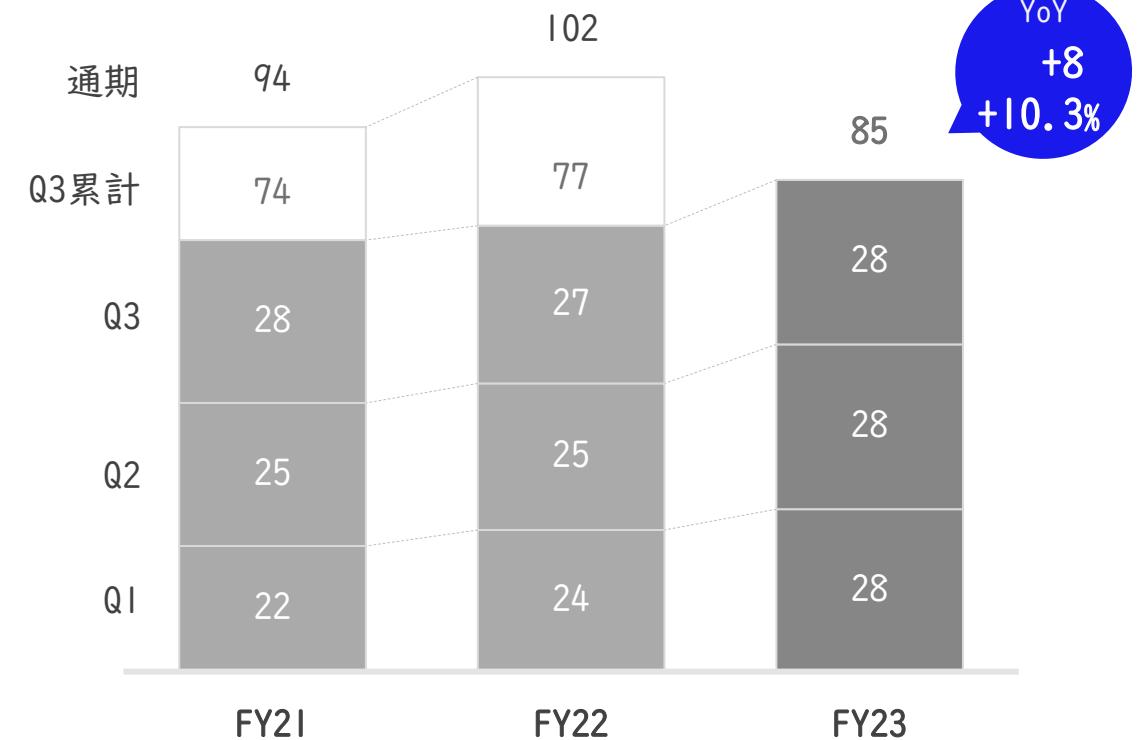
決済取扱高(通信・非通信内訳)\*i

(億円)



\*i : 一部の取引における取引高の集計漏れがあり、FY22 Q1以降の決済取扱高および非通信領域における決済取扱高を遡及修正

## 売上高は拡大、営業利益は2桁成長継続

売上高  
(億円)営業利益  
(億円)

# Beyond Japanの事業方針の下、大容量グローバルIoT通信市場に本格参入

事業概要	主にコネクテッドカー向け グローバルIoTプラットフォームを提供	
出資額	4億7,300万ユーロ*1 (51%取得し子会社化予定*2)	本社：アイルランド
Cubic Telecom の強み	①自動車メーカーが一元管理できる世界共通のPFを保有 ②190カ国以上でサービス提供が可能	
出資目的	急成長するコネクテッドカーおよびSDCV*3市場向けの グローバルIoT事業へ本格的に参入し、新たな収益機会の創出を図る	

\*1：約747億円（1ユーロ=158.00円で換算）

\*2：Cubic Telecomへの出資完了は、さまざまな国・地域の規制当局の承認およびその他の条件が前提となり、完了時期は2024年上期中を見込んでいる

\*3：SDCVとは、Software-Defined Connected Vehicleの略称で、主にインターネットに接続されたソフトウェアを通じて機能を更新することができる車両のこと

## ● ESGの取り組みについて高い評価を獲得

- ・ ESG指数の「DJSI World Index」の構成銘柄に2年連続で選定 ~2023年12月~
- ・ 「第5回日経SDGs経営大賞」で大賞を受賞 ~2023年11月~
- ・ MSCI ESG格付けにおいて最高評価の「AAA」を獲得 ~2023年11月~

## ● ESGの取り組み

- ・ 利用世帯数が国内最大の家庭向け節電サービスをCOP28  
ジャパン・パビリオンに出展 ~2023年11月~
- ・ 2023年世界無線通信会議 (WRC-23) においてHAPS\*1の携帯電話基地局向け  
周波数帯の追加が正式決定 ~2023年12月~

# 2023年度 通期予想 上方修正

## 純利益を期初予想対比10%上方修正

(億円)

	FY23通期 期初予想	FY23通期 修正後予想	増加額
売上高	60,000	60,600	+600
調整後 EBITDA	15,700	16,100	+400
営業利益	7,800	8,400	+600
純利益	4,200	4,620	+420

- ・ 売上の増加要因は主にモバイル売上の好調
- ・ EBITDAの増加要因は主にモバイル事業の好調
- ・ 営業利益のセグメント別内訳は34ページ参照
- ・ 純利益は営業利益の上方修正に加え、LYグループ再編に伴う税効果などにより上方修正

## コンシューマ / メディア・EC / ファイナンス / 「その他」を引き上げ

(億円)	FY23通期 期初予想	FY23通期 修正後予想	増加額
コンシューマ	4,700	4,900	+200
エンタープライズ	1,525	1,525	-
ディストリビューション	267	267	-
メディア・EC	1,760	1,950	+190
ファイナンス	-200	-100	+100
その他*	-252	-142	+110
合計	7,800	8,400	+600

## 上方修正要因

- ・コンシューマは純増好調・ARPU見通しが改善
- ・メディア・ECはコスト最適化や選択と集中の推進
- ・ファイナンスは販促費の効率化により費用が改善
- ・その他は子会社の売却など

# APPENDIX

(億円)	FY23 Q3累計 実績	FY23通期 期初予想	(期初予想) 対通期予想 進捗率
コンシューマ事業	4,231	4,700	90.0%
エンタープライズ事業	1,248	1,525	81.8%
ディストリビューション事業	203	267	76.0%
メディア・EC事業	1,635	1,760	92.9%
ファイナンス事業	-35	-200	-
その他	38	-252	-
全社計	7,319	7,800	93.8%

(億円)	FY22 Q3累計	FY23 Q3累計	増減	主な増減要因
売上高	43,455	45,116	+1,661	
売上原価	-22,620	-22,926	-306	
売上総利益	20,835	22,189	+1,355	
販売費及び一般管理費	-14,114	-15,063	-948	
その他の営業収益	3,214	208	-3,006	FY22Q3計上のPayPay再評価益の反動により減少
その他の営業費用	-114	-16	+99	
営業利益	9,820	7,319	-2,501	
持分変動利益	53	204	+151	Webtoonに対する持分比率が変動したことに伴い増加
持分法による投資損益（-はマイナス）	-390	-176	+214	FY22Q3におけるPayPay子会社化による改善、出前館およびLINE関連会社などの損失の反動により改善
金融収益	61	72	+12	
金融費用	-895	-568	+328	FVTPL金融商品から生じる評価損やFY22における訴訟に係る遅延損害金の計上の反動により減少
持分法による投資の売却損益	11	52	+41	
持分法による投資の減損損失	-416	-	+416	出前館の減損損失の反動により改善
税引前利益	8,243	6,905	-1,339	
法人所得税	-1,926	-1,878	+48	
純利益	6,318	5,027	-1,291	
純利益の帰属				
親会社の所有者	5,086	4,067	-1,019	
非支配持分	1,232	960	-272	

(億円)	23年3月末	23年12月末	増減	主な増減要因
資産合計	146,822	153,930	+7,108	
流動資産合計	49,481	53,277	+3,796	
現金及び現金同等物	20,592	21,949	+1,357	
営業債権及びその他の債権	23,897	25,943	+2,045	PayPayカード(株)事業拡大に伴う営業債権増加、PayPay(株)における供託金の増加など
その他の金融資産	1,949	1,820	-129	
棚卸資産	1,591	1,737	+145	
その他の流動資産	1,451	1,829	+378	
非流動資産合計	97,341	100,653	+3,312	
有形固定資産	16,737	17,338	+601	
使用権資産	7,636	7,060	-576	
のれん	19,943	19,890	-53	
無形資産	25,291	24,955	-337	
契約コスト	3,343	3,223	-121	
持分法で会計処理されている投資	2,182	2,643	+461	主にWebtoonに対する持分変動に伴う増加、ワークスマバイルジャパン(株)株式の増加(LINE(株)のAIカンパニー事業の事業譲渡に伴う対価)
投資有価証券	2,413	2,493	+80	
銀行事業の有価証券	2,888	4,966	+2,078	PayPay銀行(株)における投資有価証券の増加
その他の金融資産	15,287	16,683	+1,397	PayPay銀行(株)における住宅ローン、個人ローンの増加など
繰延税金資産	596	411	-185	
その他の非流動資産	1,025	992	-34	

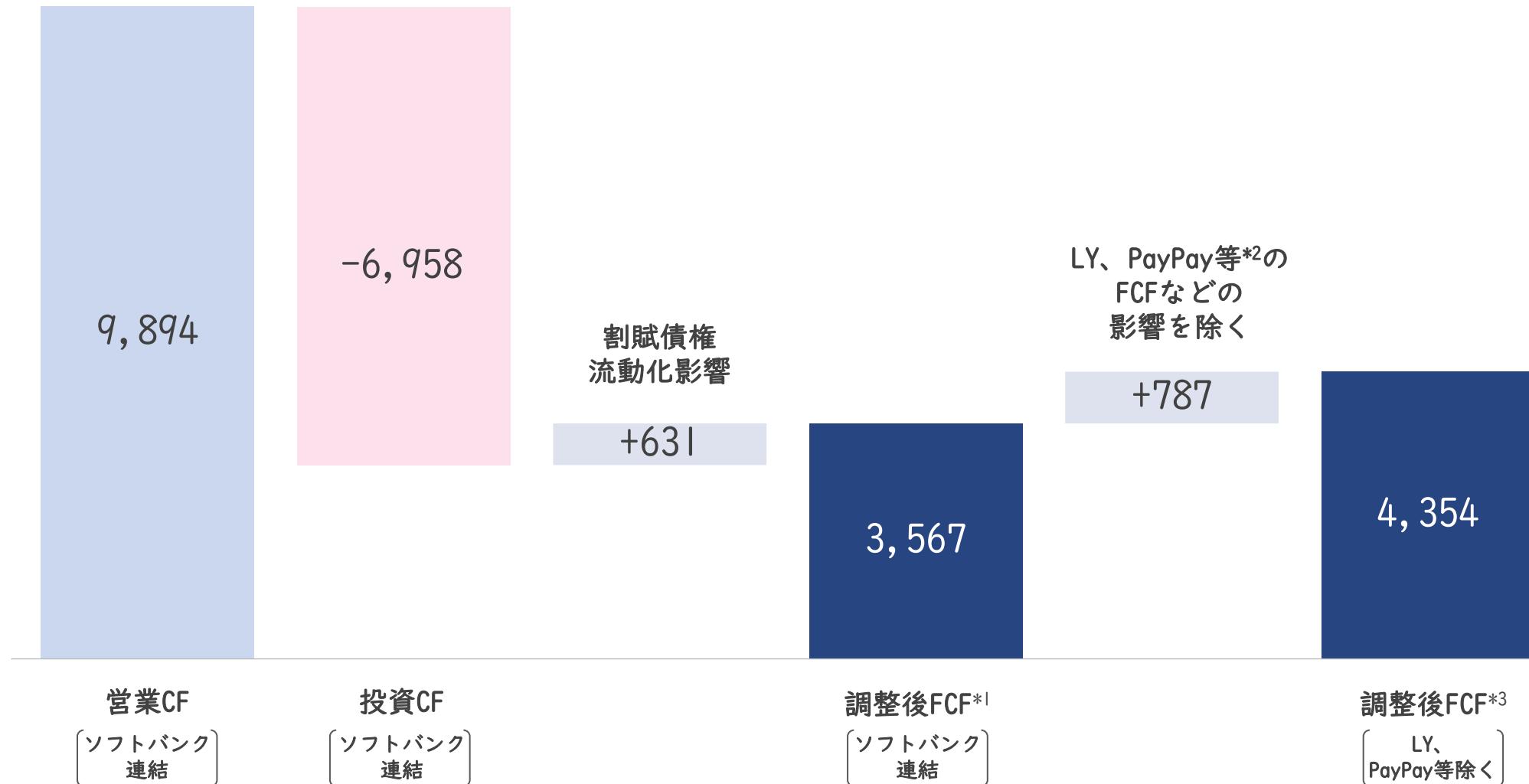
(億円)	23年3月末	23年12月末	増減	主な増減要因
負債合計	109,991	115,479	+5,488	
流動負債合計	63,726	70,570	+6,844	
有利子負債	20,642	25,309	+4,667	ソフトバンクにおける短期の資金調達による増加
営業債務及びその他の債務	23,174	24,513	+1,339	PayPayのGMV増加に伴う未払金残高の増加
契約負債	1,162	1,268	+105	
銀行事業の預金	14,723	16,255	+1,533	PayPay銀行(株)における普通預金の増加
その他の金融負債	67	82	+14	
未払法人所得税	1,162	835	-327	
引当金	636	513	-123	
その他の流動負債	2,160	1,795	-365	
非流動負債合計	46,265	44,909	-1,356	
有利子負債	40,703	39,410	-1,293	短期に合わせて記載
その他の金融負債	302	294	-8	
引当金	941	1,021	80	
繰延税金負債	3,412	3,098	-314	
その他の非流動負債	906	1,086	180	

(億円)	23年3月末	23年12月末	増減	主な増減要因
資本合計(純資産)	36,831	38,451	+1,620	
親会社の所有者に帰属する持分	22,249	23,123	+874	
資本金	2,043	2,105	+62	
資本剰余金	6,851	8,024	+1,174	社債型種類株式発行+1,200億円
利益剰余金	13,920	13,941	+21	ソフトバンクの配当支払い-4,069億円、純利益+4,067億円
自己株式	-741	-1,121	-379	
その他の包括利益累計額	177	173	-4	
非支配持分	14,581	15,328	+747	

自己資本比率*	15.2%	15.0%	-0.1%	
純資産比率（純資産に対する資本の割合）	25.1%	25.0%	-0.1%	

(億円)	FY22Q3 累計	FY23Q3 累計	主な増減要因
営業活動によるCF	10,484	9,894	
純利益	6,318	5,027	FY22Q3におけるPayPay再測定益の計上による減少
減価償却費	5,678	5,607	
ワーキング・キャピタル増減	1,044	-55	
利息支払額	-451	-438	
法人所得税の支払額・還付額	-2,454	-2,780	
その他	350	2,532	主に銀行事業における預金による収入増加
投資活動によるCF	382	-6,958	
有形固定資産及び無形資産の取得による支出・収入	-4,743	-4,521	
投資の取得による支出・投資の売却または償還による収入	-445	-440	
子会社の支配獲得による収支	3,913	-	FY22Q3におけるPayPay(株)の連結子会社化に伴う現預金残高受け入れ
その他	1,657	-1,998	銀行事業における有価証券の取得による支出の増加
財務活動によるCF	-3,808	-1,642	
短期有利子負債の純増減	1,234	1,303	
有利子負債の収入	15,188	20,808	
有利子負債の支出	-16,029	-20,142	
株式の発行による収入	-	1,310	ソフトバンクの社債型種類株式発行
配当金の支払額	-4,044	-4,057	
非支配持分への配当金の支払額	-459	-442	
その他	303	-422	ソフトバンクの自己株式取得による支出の増加
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	63	
現金及び現金同等物の期首残高	15,468	20,592	
現金及び現金同等物の期末残高	22,581	21,949	
調整後FCF	11,072	3,567	

(億円)



\*1：調整後FCF = FCF + (割賦債権の流動化による調達額 - 同返済額) \*2：LY、PayPay等はAHD、LYグループ、BHD、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)、PPSCインベストメントサービス(株)を指す \*3：AHD、LYグループ、BHD、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)、PPSCインベストメントサービス(株)のFCF、AHDからの受取配当を含む

	(億円)	23年3月末	23年12月末	増減
<b>PayPay連結*1</b>				
資産合計（総資産）	17,018	18,788	+1,770	
現金・預金	6,412	6,043	-369	
その他資産	10,606	12,745	+2,139	
負債合計	16,440	18,253	+1,813	
有利子負債	6,484	6,438	-46	
その他負債	9,956	11,815	+1,859	
資本合計（純資産）	578	535	-43	

	(億円)	23年3月末	23年12月末	増減
<b>SBペイメントサービス(株)*2</b>				
資産合計（総資産）	2,927	2,869	-58	
現金及び現金同等物	406	614	+208	
営業債権及びその他の債権	1,077	1,148	+71	
その他資産	1,443	1,107	-336	
負債合計	2,545	2,488	-57	
営業債務及びその他の債務	2,499	2,452	-46	
その他負債	46	36	-11	
資本合計（純資産）	382	381	-1	

2023年12月末時点の関係会社：298社（うち子会社 222社、関連会社\*1 76社）

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
コンシューマ	Wireless City Planning(株)	31.8%	電気通信事業（経済的持分比率：99.5%）
	SBパワー(株)	100.0%	電力の売買業務および売買の仲介業務
	SBモバイルサービス(株)	100.0%	コールセンター事業
エンタープライズ	(株)IDCフロンティア	100.0%	データセンター事業
	SBエンジニアリング(株)	100.0%	電気通信に関わる構築、運用など
	(株)イーエムネットジャパン	41.3%*2	インターネット広告事業
ディストリビューション	SB C&S(株)	100.0%	IT関連製品の流通・販売、IT関連サービスの提供
メディア・EC	LINEヤフー(株)*3	64.4%	インターネット広告事業、イーコマース事業及び会員サービス事業などの展開並びにグループ会社の経営管理業務など
	(株)ZOZO	51.0%	ファッショントリニティ EC サイトの運営、プライベートブランドの販売、ファッショントリニティメディアの運営等
	アスクル(株)	45.0%	オフィス関連商品の販売事業、その他の配達事業
	(株)一休	100.0%	高級ホテルや旅館、厳選レストラン等のインターネット予約サイト運営事業
	バリューコマース(株)	51.9%	広告事業、CRM事業
	PayPay銀行(株)	46.6%	銀行業

青：上場企業

\*1：関連会社には共同支配企業を含む

\*2：2023年6月末時点

\*3：Zホールディングス(株)は、2023年10月1日付で同社を存続会社として、同社ならびにLINE(株)およびヤフー(株)を中心としたグループ内再編を実施し、商号をLINEヤフー(株)に変更。同日をもって、LINE(株)はZ中間グローバル(株)に商号変更され、ヤフー(株)は消滅

# 主な関係会社 子会社・関連会社 (2/2)

 SoftBank

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
ファイナンス	PayPay(株)	69.8%	モバイルペイメント等電子決済サービスの開発・提供
	PayPayカード(株)	100.0%	クレジット、カードローン、信用保証業務
	SBペイメントサービス(株)	100.0%	決済サービス
	PayPay証券(株)	66.0%	スマートフォン専業の証券業
その他 (子会社)	SBメディアホールディングス(株)	100.0%	アイティメディア等の株式を保有する持株会社
	アイティメディア(株)	52.6% *†	IT総合情報サイト「ITmedia」の運営
	SBプレイヤーズ(株)	100.0%	インターネットレジャーサービスに関する調査、企画、情報の提供、ならびに投票券の発売・払戻
	SBテクノロジー(株)	54.1% *†	クラウドサービス、セキュリティ運用監視サービス、IoT ソリューションの提供
	サイバートラスト(株)	58.0% *†	IoT、Linux/OSS、認証・セキュリティサービス

青：上場企業

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
関連会社	WeWork Japan合同会社	25.0%	コワーキングスペース提供事業
	(株)ジーニー	31.7% *†	マーケティングテクノロジー事業
	(株)出前館	36.9%	インターネットサイト「出前館」の運営およびそれにかかる事業

青：上場企業

\*† : 2023年3月末時点

